

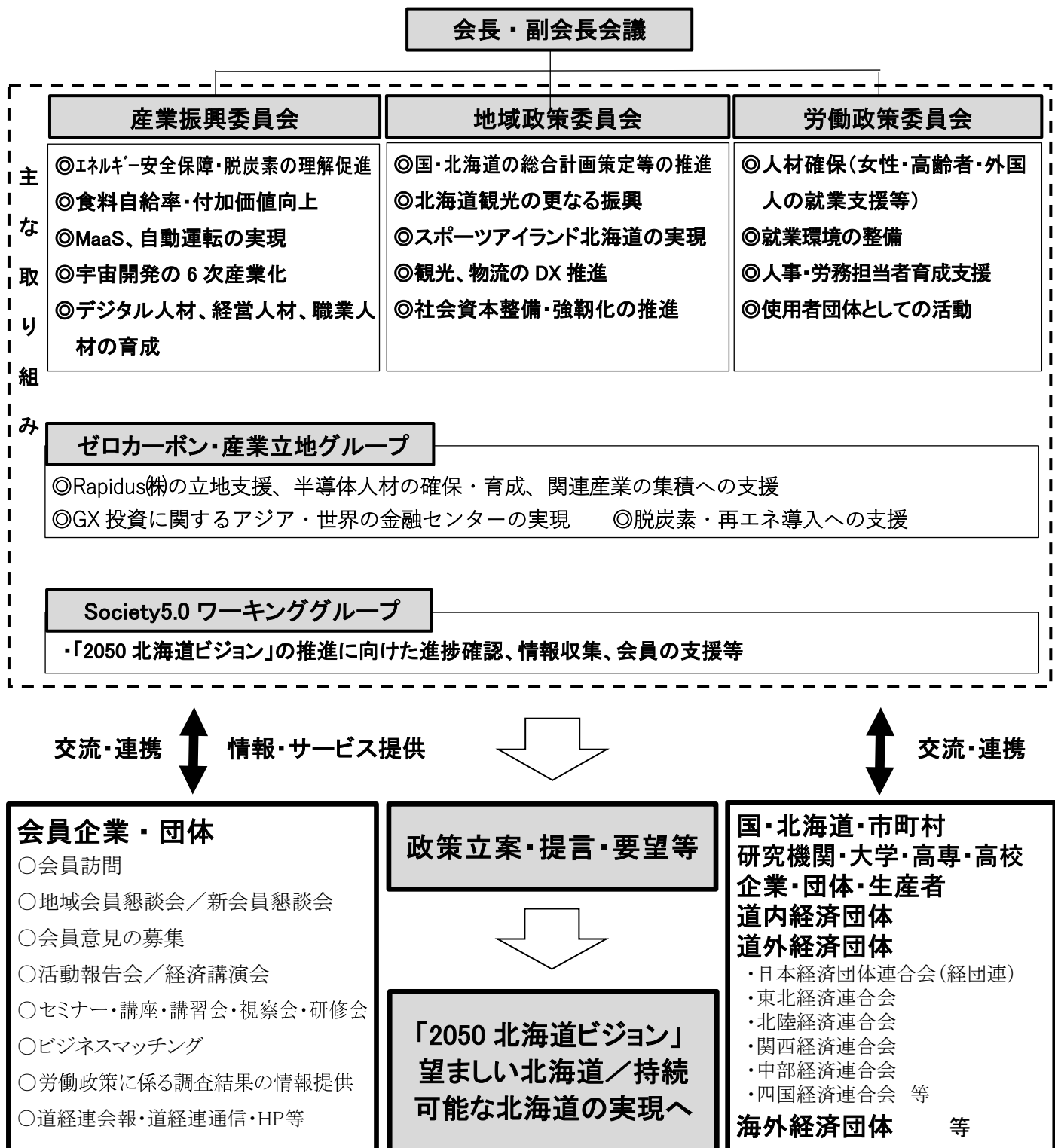
2 0 2 4 年度

事 業 報 告

北海道経済連合会

I. 2024 年度事業運営の概要

- 2024 年度は、物価・原材料価格の高止まりや労働力不足の深刻化が継続する中、北海道・札幌市の「GX 金融・資産運用特区」の指定や次世代半導体工場の試作ライン稼働に向けた対応の本格化とともに、道内洋上風力の再エネ海域利用法に基づく「促進区域」指定プロセスの進展や十勝地域での宇宙戦略基金事業の採択など、北海道経済の発展に寄与し得る動きが着実に進捗しています。
- 2024 年度の事業計画では、GX の推進や次世代半導体産業の集積に向けた取り組みとともに、北海道の強みを活かした食・観光などの振興、地方創生や産業振興につなげる DX の推進、人材育成・確保および社会資本整備・強靱化を重点目標に掲げており、食・観光・再生可能エネルギーなどの北海道が有する地域資源を最大限活用し国の安全保障に貢献しながら、GX・DX、次世代半導体などに関する新たな動きを北海道全体の均衡ある持続的発展につなげていくとの考えの下、取り組みを進めてまいりました。
- 当会は、昨年 12 月に創立 50 周年の節目を迎えました。北海道の可能性を活かしきり、国内外の課題解決をリードする先進的な地域として発展を続けていくためにも、会員の皆様や関係機関・団体との交流・連携を一層強化し、ご意見などを活動に反映しながら、当会の「2050 北海道ビジョン」に掲げる「あるべき未来像」の実現に向けて、産学官金一体での取り組みを進めてまいります。



II. 2024 年度事業報告

1. GX の推進

- 1-(1) GX 投資に関するアジア・世界の金融センターの実現
- 1-(2) 道内企業における脱炭素の取り組みへの支援
- 1-(3) 脱炭素・エネルギー安全保障に関する理解促進・啓蒙活動の実施
- 1-(4) 再生可能エネルギー・次世代エネルギーの利活用
- 1-(5) 資源の循環利用

2. 次世代半導体産業の集積

- 2-(1) Rapidus(株)の立地支援、半導体人材の確保・育成、関連産業の集積

3. 食・観光・スポーツの振興

- 3-(1) 食の振興
- 3-(2) 観光の振興
- 3-(3) 「スポーツアイランド北海道」を展望した取り組み

4. DX の推進

- 4-(1) MaaS、自動運転の実現
- 4-(2) エアモビリティ等の推進
- 4-(3) 宇宙開発の6次産業化
- 4-(4) グリーンデータセンターの整備促進
- 4-(5) 新産業・イノベーションの創出
- 4-(6) 観光・物流等におけるDX推進

5. 人手不足対策と人材育成

- 5-(1) 人材の確保
- 5-(2) 就業環境の整備
- 5-(3) デジタル人材の育成
- 5-(4) 次世代の経営人財育成
- 5-(5) 地域産業を牽引する職業人材の育成
- 5-(6) 人事・労務担当者の人材育成支援

6. 社会資本の整備と強靱化の推進

- 6-(1) 社会資本の整備促進
- 6-(2) 国土強靱化の推進

7. 会員企業・団体および道外経済団体との連携、諸団体の運営等

- 7-(1) 会員企業・団体および道外経済団体との交流・連携
- 7-(2) 会員サービスの向上、会員基盤の強化
- 7-(3) 事務局機能の強化
- 7-(4) エネルギーと環境に関する団体の運営
- 7-(5) 北海道の使用者団体としての活動

1. GX の推進

1-(1) GX 投資に関するアジア・世界の金融センターの実現【新規】

- ・ 「Team Sapporo-Hokkaido」に参画し、再エネ導入拡大にあたっての課題共有および解決に向けた対策、GX に関する事業投資の促進等に係る協議・情報共有等を実施した。
 - 幹事会：3 回開催（5 月・7 月・12 月）
 - W G：情報プラットフォーム WG（11 月）、地域展開促進 WG（11 月）
 - セミナー：北海道経済連合会 GX セミナー（4 月、226 名参加）
 - 勉強会：データセンター勉強会（6 月）
- ・ 「北海道洋上風力推進連携会議」（事務局：北海道）において関係機関との連携強化を図るとともに、「洋上風力関連産業プロジェクト」（北海道委託事業）として、道内企業の参入支援や次世代人材育成に係る取り組みを実施した。
 - 調査レポート「洋上風力発電に係るサプライチェーン構築と人材育成」の報告（8 月）
 - 「GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT JAPAN2024」への「北海道ブース」出展（9 月）
 - ビジネスマッチングの開催（9 月、洋上風力発電事業者 12 社・道内企業 22 社・100 件以上の商談実施）
 - 「第 23 回 SMART ENERGY WEEK『WIND EXPO【春】』」へのブース出展（2 月）
 - 洋上風力発電事業サプライチェーン参入促進セミナーの開催（道内 4 箇所、計 224 名参加）
 - 工業高校生を対象とした出前授業・バスツアー見学会の実施（各 3 回、計 331 名参加）

1-(2) 道内企業における脱炭素の取り組みへの支援

- ・ 道内経済団体・産業界と連携して勉強会・セミナー等を開催し、道内企業の脱炭素に向けた取り組みの支援を実施した。【新規】
 - 企業の脱炭素の取り組み事例や国の補助事業・支援策に関する勉強会・セミナーの開催（3 回、計 120 名参加）
 - 「第 38 回北海道ビジネス EXPO」の「ゼロカーボン北海道ブース」への、北海道・札幌市・北海道中小企業家同友会との共同出展（11 月）
- ・ 会員企業からの意見を踏まえ、国・北海道へ、以下の継続要望を実施した。
 - ゼロカーボン北海道の推進に係る企業・家庭・自治体への補助事業（再生可能エネルギーの利活用、省エネ設備の導入のための環境整備等）の実施
 - 経済団体・企業との意見交換や外部セミナー・シンポジウムから得られた課題、北海道が抱える地域的な問題等を踏まえた、企業・家庭が脱炭素を推進するための支援の実施
- ・ 「食品企業学習会」（事務局：当会。「食品企業会議」から改称）と連携し、脱炭素に関するセミナー、関連企業の視察を実施した。

1-(3) 脱炭素・エネルギー安全保障に関する理解促進・啓蒙活動の実施

- ・ 「北海道エネルギー基本問題懇談会」(事務局：当会) および「エコロギア北海道 21 協議会」(事務局：当会) を運営し、道内企業の脱炭素化の意義や理解の促進・啓蒙活動を実施した。また、北海道委託事業を活用し、道内企業の脱炭素に向けた支援活動を実施した。
 - 環境・エネルギーに関する先進事例施設の視察会の実施 (3 回、計 57 名参加)
【7-(4)①再掲】
 - 「カーボンニュートラルファーストステップ支援事業」(北海道委託事業) として、カーボンニュートラル化に向けたプラン作成企業の選定、プランの作成、実施に向けた支援の実施 (道内 15 社)
 - 「脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業」(北海道委託事業) として、「カーボンクレジット活用セミナー」(11 月) および「業種別セミナー」(11 月、2 回) の開催、企業向け研修等の企画、企業の取組事例集等の作成
- ・ 電力の安定供給とカーボンニュートラルの両立に向け、政府方針を踏まえ、原子力発電の利活用、泊発電所の早期再稼働への支援について、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 北海道静内高等学校におけるバイオ炭の農地施用の実証事業への支援体制を維持した。

1-(4) 再生可能エネルギー・次世代エネルギーの利活用

- ・ ゼロカーボン北海道の実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大・環境整備への支援について、国・北海道への継続要望を実施した。
- ・ 北海道の水素利活用を進める実証・研究開発への支援について、国への要望を実施した。
- ・ 道内における水素サプライチェーン構築への支援について、北海道への要望を実施した。
【新規】
- ・ 脱炭素化社会の実現に向けたカーボンニュートラルポートの形成支援について、国への継続要望を実施した。【6-(1)⑥再掲】

1-(5) 資源の循環利用

① 林産・水産資源の循環利用

- ・ 水産系廃棄物の再資源化と道内自治体・漁協によるブルーカーボンの取り組みを支援した。
 - ホタテ貝殻の再資源化およびブルーカーボン創出に向けた実態把握・課題抽出 (訪問先：6 振興局・27 市町村・18 漁協、北海道および北海道漁業協同組合連合会と連携)
 - ホタテ貝殻のプラスチック添加剤利用や素材利用に向けたメーカー等との協議の実施
- ・ 道産木材の利用拡大推進イベント (事務局：北海道) への後援・開催周知を実施した (10 月)。
- ・ ブルーカーボンに資する藻場造成等への支援について、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 森林整備支援の継続、スマート林業定着への支援、優良種苗の安定生産対策の構築、木材加工・流通施設の整備への支援および道産建築材の利用推進・生産供給体制への支援について、国への要望を実施した。
- ・ 道産建築材を利用して住宅を建築する個人への支援について、北海道への要望を実施した。

② 資源リサイクルの促進

- ・ 「北海道環境審議会」（事務局：北海道）に参画し、「北海道環境基本計画」に基づく施策の進捗状況の点検・評価について、経済界の立場から意見具申した（4回）。
- ・ 「北海道環境教育等推進懇談会」（事務局：北海道）に参画し、「北海道環境教育等行動計画」の改定について、経済界の立場から意見具申した（4回）。【新規】
- ・ 環境負荷低減が期待される油化装置や亜臨界装置等の企業による導入に向けた取り組みの支援体制を維持した。

2. 次世代半導体産業の集積

2-(1) Rapidus(株)の立地支援、半導体人材の確保・育成、関連産業の集積

- ・ （一社）北海道新産業創造機構（ANIC）との連携のもと、以下の取り組みを実施した。
また、課題解決に向けた支援の実施・加速化について、国への要望を実施した。
 - Rapidus(株)をはじめとする半導体関連企業の立地支援
 - 半導体企業と道内企業とのビジネスマッチング・商談会（2回、計97社参加）
 - 「半導体産学官ネットワーク構築・強化事業」（北海道委託事業）として、道内の企業・大学・高専・自治体と連携した半導体エコシステム構築に向けた地域プロジェクトの組成（5件）
 - 道外・海外の企業・関連団体への訪問・ヒアリング等による先進事例調査
 - 北海道への企業誘致に係る国内外イベント出展への協力（3回）、海外視察（1回）

3. 食・観光・スポーツの振興

3-(1) 食の振興

① 食料安全保障に資する食料自給率向上

- ・ 北海道の生産空間維持やスマート農業の推進に不可欠な農業・農村基盤整備に関わる予算の拡充について、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 「北海道農業・農村振興審議会」（事務局：北海道）に参画し、道産農作物の効率的な増産に係る要望と、酪農経営安定化のための牛乳・乳製品の需要喚起について、経済界の立場から意見具申した。

② 食関連産業の付加価値向上と持続的発展

○「食クラスター連携協議体」の運営

- ・ 「食クラスター連携協議体」（事務局：当会）を運営し、各参画機関の活動・イベント情報の発信を実施した（メールマガジン：43 回配信、Facebook：毎月更新）。

○「食品企業学習会」の運営

- ・ 「食品企業学習会」（事務局：当会。「食品企業会議」から改称）を運営し、労災防止研修、SDGs 勉強会、セミナー・製造工場見学会（4 回）を実施した。

○「試作・実証・製造プラットフォーム」への参画

- ・ 「試作・実証・製造プラットフォーム」に参画し、道内の設備や原料を利用した試作・実証・製造に関わる企業等のマッチング等を支援した（相談 62 件・マッチング 45 件・登録 OEM（パートナー企業）108 社）。

○「北海道一ワインプラットフォーム」への参画

- ・ 「北海道一ワインプラットフォーム」（事務局：北海道大学）に参画し、構成機関と共同で道産ワインに関するプロモーション・広告事業を支援した。

○さつまいもクラスターの形成【新規】

- ・ 「さつまいも北海道」プロジェクトへ参画し、（一社）九州経済連合会との情報交換・さつまいも加工場見学を実施した（8 月）。【7-(1)再掲】

○「ヘルシーDo」の推進【期中新規】

- ・ 北海道食品機能性表示制度「ヘルシーDo」の運営団体を対象に、（国研）日本医療研究機構による勉強会を実施した（6 月）。

○酪農・乳業の持続的発展【期中新規】

- ・ 酪農の未来と魅力を抽出する「牛乳で Future スマイルプロジェクト」に実行委員として参画し、イベント企画・設計・開催を支援した（1 月）。

③ スマート農業技術の現場導入

- ・ 以下の会議体等に参画し、各種情報収集を実施した。
 - 北海道スマート農業推進連絡会議（事務局：北海道）
 - 北海道スマート農業推進協議体（事務局：北海道）
 - 北海道農業 ICT/IoT 懇談会（主催：北海道総合通信局）

- スマート農業推進フォーラム 2024in 帯広（主催：農林水産省、(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構）
- 北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクト事業化戦略会議 2025（主催：(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構）

④ 道産食品の輸出拡大

- ・ 「道産食品輸出拡大会議」（事務局：当会、北海道農政事務所、北海道）を運営し、以下の取り組みを実施した。
 - 輸出拡大に向けた優先課題の抽出や方向性の議論等（7 回）
 - 貿易実務者を講師とする勉強会の開催（5 回）
 - 「北海道地域農林水産物等輸出促進協議会」（事務局：北海道農政事務所、北海道）^(※1)での活動内容の報告（2 月）。
- （※1）全国の農林水産物・食品の輸出を促進する「農林水産物等輸出促進全国協議会」（事務局：農林水産省）の北海道地域における組織。

⑤ 周辺諸国の水産物輸入停止への対応

- ・ 中国を中心とする日本産水産物輸入停止措置への対策や水産品の消費拡大について、北海道と情報交換を実施した（2 回）。

⑥ 食関連イベントへの参画

- ・ 「第 28 回全国菓子大博覧会・北海道」（2025 年 5 月開催、旭川）の実行委員会へ参画し、前売入場券の販売促進や会員への情報発信を実施した。【新規】

3-(2) 観光の振興

① 観光需要の創出

- ・ 閑散期の観光需要の創出を目的として、宿泊施設や旅行パック商品等を販売する Black FRIDAY 企画を実施した（11 月）。
- ・ 「北海道ハイウェイショウエリア」（主催：東日本高速道路(株)）に参画し、当会や道内ワイナリーによるワインツーリズムの更なる普及に向けた取り組みを紹介した（6 月・9 月、輪厚 PA）。
- ・ 道内民間委託 7 空港の航空ネットワーク（路線・便数）の充実を見据えて、「北海道内 7 空港の一体的運営に関する協議会」（事務局：北海道エアポート(株)）へ参画し、航空ネットワーク等を活用した広域観光振興や地域活性化方策について協議・検討し、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 交流人口および観光消費額の拡大に向けて、「第 3 回これがわたしの HOKKAIDO LOVE! 祭」（主催：北海道エアポート(株)等）の運営に協力した（11 月、大阪）。
- ・ 「国管理空港の強靱化の実施」および「航空機燃料の不足に対する支援策」について、（一社）北海道商工会議所連合会、（公社）北海道観光機構、北海道エアポート(株)と共同で国への要望を実施した。【期中新規】

② アドベンチャートラベル（AT）の推進

- ・ 新たに設置された「北海道アドベンチャートラベル推進連携会議」（事務局：北海道）に参画し、ATに関する取り組みの情報共有や連携を実施した。【期中新規】
- ・ 「北海道アドベンチャートラベル推進連携会議」（事務局：北海道）の分科会において、共同ステートメント（※2）に基づくロードマップ策定に参画した。【期中新規】
（※2）「アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション」（ATTA）と「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会」（事務局：北海道）による共同ステートメント。
- ・ 北海道におけるATの定着・発展のため、道内関係者と連携した取り組みを実施するとともに、ATのガイド育成や体験プログラムづくり等に対する支援について、国・北海道への要望を実施した。

③ 観光振興税の導入

- ・ 観光振興や交通と観光の共創に持続的に寄与する新たな財源（観光振興税）の早期導入および有効活用について、北海道への要望を実施した。

④ 統合型リゾート（IR）の誘致

- ・ 「北海道らしいIR」のコンセプト構築等について、北海道、道内経済団体、IR事業者、関連事業者等と情報交換を実施するとともに、IR誘致の実現に向けて、国・北海道への要望を実施した。

⑤ MICEの誘致

- ・ 国際会議等の誘致に向けて、「北海道国際会議等誘致推進会議」（事務局：北海道）に参画し情報交換を実施するとともに、MICE誘致の推進について、国・北海道への要望を実施した。

⑥ ウポポイ（民族共生象徴空間）への誘客

- ・ 「ウポポイ誘客促進戦略」（国土交通省北海道局）の「ウポポイと地域との周遊促進調査業務」のワーキンググループに参画し、ウポポイへの誘客を議論する体制構築、モデルコース造成に協力するとともに（4回）、講演への講師派遣に協力した（11月）。【期中新規】
- ・ ウポポイ誘客100万人達成目標に向けて、（公財）アイヌ民族文化財団に対し、会員企業と連携し誘客施策案（1社・1案件）を提案するとともに、誘客に必要な施策への支援や課題解決策等について、国・北海道への継続要望を実施した。

⑦ 北海道・北東北縄文遺跡群の観光利用促進

- ・ 「北の縄文・官民連携プラットフォーム」（事務局：北海道）の観光分科会に参画し、ガイド育成に必要な施策等について経済界の立場から意見具申するとともに、国・北海道への継続要望を実施した。

3-(3)「スポーツアイランド北海道」を展望した取り組み

① ウィンタースポーツの振興

- ・ 「北海道スポーツ医・科学フェスタ」(主催：北海道スポーツ医・科学コンソーシアム)の開催に向け、会員企業への周知を実施した(10月)。**【新規】**

② 冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)の北海道設置の実現

- ・ 冬季版 HPSC の北海道設置について、国・北海道への要望を実施した。

③ スポーツ MICE (スポーツ国際大会、合宿等)の誘致

- ・ 国内外のスポーツ大会や合宿等の誘致について、国・北海道への要望を実施した。

4. DX の推進

4-(1) MaaS、自動運転の実現

① MaaS の実現

- ・ 北海道のあるべき交通と観光の姿として「交通と観光の共創による北海道 MaaS の構築」のため、ランドデザインを関係者で作成し理解・浸透を図るとともに、九州での MaaS 先進事例を調査し、知見の蓄積および人材の育成支援を実施した。**【新規】**
- ・ 持続可能な地域社会の実現のため、道内交通の維持・発展に対する支援およびそれに資する道内の MaaS 事業採択と支援について、国への継続要望を実施した。
- ・ 「地域新 MaaS 創出事業」（経済産業省）の採択事例の拡充、「共創 MaaS 実証プロジェクト」（国土交通省）の北海道での事業採択数増加と採択後の事業支援について、国への要望を実施した。また、北海道・網走市・帯広市・小清水町において会員等が行う各事業に参画し、取組内容への助言や関係機関との調整等に対する支援を行い、6 事業の採択に貢献した。

② 自動運転の実現

- ・ 北海道における積雪寒冷下での自動運転技術の課題解決と自動運転の通年走行実現を目的として、（公財）北海道科学技術総合振興センターと共催で「北海道内自動運転の通年走行に向けた勉強会」を開催した（10 月・3 月）。
- ・ 次世代モビリティビジネスへの理解促進と新たなビジネス機会の創出を目的として、「北海道自動車産業集積促進協議会」（事務局：北海道）と共催で「次世代モビリティビジネスセミナー」を開催した（11 月）。
- ・ 北海道の特性に応じた自動運転の実現に向けた支援について、国への要望を実施した。
- ・ 北海道の特性に応じた自動運転の実現に向けた総合的な取り組みの推進について、北海道への要望を実施した。

4-(2) エアモビリティ等の推進

- ・ 「第 3 回ドローンサミット／北海道ミライづくりフォーラム」に参画し、会員企業への参加周知ならびに出展募集および講演者調整等を実施した（10 月）。
- ・ 「第 5 回空飛ぶクルマ自治体ネットワーク」に参画し、次世代空モビリティの先進自治体や関連企業と意見交換を実施した（10 月）。
- ・ 「高付加価値旅行者の北海道への誘致促進を見据えたヘリコプターによる空港二次交通の実証運航」事業（※3）に参画し、会員企業 4 社を協力・協賛会社として紹介した（11 月）。
【期中新規】
（※3）「道内空港二次交通高度化検討委員会」（事務局：北海道エアポート㈱）が主体となり実施。
- ・ エアモビリティやドローンの実証実験の誘致、規制緩和による課題解決や活用促進、具体的な活用事例について検討し、北海道への継続要望を実施した。
- ・ 2025 大阪・関西万博後の道内実証を目指し、次世代空モビリティの実証補助金や、次世代空モビリティの道内導入に向けた官民一体の協議会の設置について、北海道への継続要望を実施した。

4-(3) 宇宙開発の6次産業化

① 北海道内の宇宙産業集積

- ・ 「宇宙版シリコンバレー」のベースとなる射場整備に対する宇宙戦略基金獲得に向けた「HOSPO 地上系基盤技術準備チーム幹事会」に参画、SPACE COTAN(株)による応募を支援し、「打上げ高頻度化等を実現する地上系基盤技術」の採択決定に貢献した（1月）。

【新規】

- ・ 北海道スペースポートの LC-1 射場整備に対する継続支援、LC-2 射場および 3,000m 級滑走路の整備事業を国家プロジェクトとして進めるよう、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 航空宇宙産業の研究拠点整備、産学官の技術交流の推進、衛星データを利用した技術の社会実装に向けた継続支援について、国・北海道への要望を実施した。

② 宇宙関連ビジネスの支援

- ・ 「北海道宇宙関連ビジネス創出連携会議」（事務局：北海道）に参画し、北海道宇宙サミット開催等の情報を会員企業に道経連通信（メールマガジン）等で提供した。

4-(4) グリーンデータセンターの整備促進

- ・ デジタル関連産業の集積やデジタル人材の道内定着の実現を図るため、首都圏に集中している民間データセンターの北海道への設置支援について、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 政府データの道内保管について、国への要望を実施した。

4-(5) 新産業・イノベーションの創出

① 産学官連携事業の促進

- ・ 以下の会議体等に参画し、会員企業と大学等のマッチングに係る情報収集を実施した。
 - 北海道産学官ネットワーク推進協議会（事務局：北海道）
 - 北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会（事務局：（公財）北海道科学技術総合振興センター）
 - 北海道リカレント教育プラットフォーム（事務局：北海道国立大学機構）

② オープンイノベーション創出の支援

- ・ 「STARTUP HOKKAIDO」（事務局：北海道、札幌市、北海道経済産業局、北海道大学等）と連携し、オープンイノベーションの発展に向けた取り組みについて協議した。また、道外の実証事例をヒアリングし、北海道でのオープンイノベーション創出に向けた取り組みについて検討を実施した。

4-(6) 観光・物流等の DX 推進

① 観光需要の促進、消費単価向上に貢献する DX の推進

- ・ 観光ガイド不足に対応するデジタルツールのニーズについて、会員企業と連携し、北海道等へのヒアリング・提案等を実施した。
- ・ 「交通と観光の共創による北海道 MaaS の構築」ブランドデザインの実現に向け、IT 事業者やコンサルタント等との意見交換を実施した。
- ・ 北海道の魅力を映像で国内外に発信する取り組みや、デジタルコンテンツによる地域の情報共有を促進する取り組みを支援するため、「地域デジタルコンテンツ推進部会」（事務局：北海道総合通信局）に参画し、次世代のクリエイターの発掘・育成に関するイベント等を開催した。【期中新規】

② 「DX カンファレンス 2024」の開催

- ・ 「DX カンファレンス 2024」を開催し、会員企業等による DX ソリューションや導入事例の紹介を実施した（3 月、延べ 250 名参加）。

③ 物流における DX 推進

- ・ 道内各地区トラック協会から、物流の 2024 年問題に関する現状を聴取し取り纏めを実施した。【6-(1)①再掲】
- ・ 「共同輸配送デジタルマッチング事業」（北海道経済産業局）の事業者募集について会員企業への周知を実施した。【6-(1)①再掲】
- ・ 「北海道物流 WEEK2025」（主催：北海道農政事務所、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局、北海道）に参画し、会員企業への情報提供を実施した（2 月）。
【6-(1)①再掲】
- ・ 物流の共有化システムへの設備投資補助の実施について、国への要望を実施した。
【6-(1)①再掲】

5. 人手不足対策と人材育成

5-(1) 人材の確保

① 女性の就業支援

- ・ 女性の就業機会拡大に向けて、「北海道働き方改革推進企業認定制度」（北海道）、「女性応援ポータルサイト」（内閣府）、「女性活躍推進企業データベース」（厚生労働省）等の情報を会員企業へ周知し機運醸成を図った。
- ・ 女性の活躍推進、道内企業における女性活躍の意識向上および環境整備の取り組み強化について、国・北海道への要望を実施した。

② 高齢者への就業支援

- ・ 「地域ワークショップ」（主催：（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構）に後援として参画し、高齢者雇用の機運醸成を図った（10月）。
- ・ 「シニア人材活用セミナー」を開催し、高齢者の多様なニーズに対応した再就職支援を実施した。（7月、15名参加）

③ 外国人材の受入

- ・ 関係機関等が開催する外国人材セミナー等の情報を会員企業へ周知した。
- ・ 外国人材の居住環境や日本語習得の支援、各種在留資格制度の柔軟化、外国人労働者の雇用促進、外国人雇用サービスセンターの道内への誘致等について、国・北海道への要望を実施した。

④ 障がい者への就業支援

- ・ 「優良勤労障がい者推薦制度」（（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構）の会員企業への周知および推薦活動を通じ、障がい者の就業支援を実施した。

⑤ 長期無業者等への職業的自立支援

- ・ 「地域若者サポートステーション」（事務局：北海道）に参画し、課題解決に向けた情報共有を通じた支援を実施した。

⑥ 新規学卒者等の道内就職の促進

- ・ 若者の道内就職に向けた活動への支援として、以下の取り組みを実施した。**【5-(3)③再掲】**
 - 教員向け合同企業説明会（9月、26社（うち会員企業11社）・11校・教員24名参加）
 - 実践的インターンシップ（3社実施）
 - 焚火トーク（3回、計11社・学生27名参加）

⑦ UIJ ターンの促進

- ・ 北海道の魅力を活かした UIJ ターン・移住・定住の促進と十分な予算の確保について、北海道への要望を実施した。

⑧ ワークেশョンの促進

- ・ 「北海道ワークেশョン推進協議会」（事務局：北海道）に参画し、関係人口を創出するワークেশョン事例の情報収集を実施した。

5-(2) 就業環境の整備

① 労働時間や待遇などの改善

- ・ 「北海道働き方改革推進支援センター」（厚生労働省）の支援内容を会員企業へ情報提供するとともに、「労働基準法の実務講座」および「従業員トラブルの労働法講座」の開催を通じて、企業の環境整備を支援した。

② 多様で柔軟な働き方がしやすい環境整備

- ・ 多様で柔軟な働き方を促進するため、働き方改革の優良な取り組み事例について、会員企業への周知を実施した。

③ 女性の活躍支援

- ・ 「女性リーダーチャレンジ研修」を開催し、道内企業における役員・管理職の女性比率向上に向けた取り組みを支援した（7月、32名参加）。
- ・ 「女性経営層ネットワーク研修」を開催し、会員企業の女性経営者から指導・助言いただく機会を創出した（10月、10名参加）。
- ・ 「アンコンシャス・バイアス研修」を開催し、マネジメントの質や意思決定の柔軟性向上を促し、性別などによる無意識の思い込みを払拭する取り組みを実施した（9月、24名参加）。

④ 育児・介護・治療と仕事の両立支援

- ・ 「こども未来戦略（加速化プラン）」の着実な実施について、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 家庭と仕事の両立に取り組む企業の好事例について、会員企業への発信を都度実施した。

⑤ 従業員の職場定着への支援

- ・ 「北海道働き方改革推進支援センター」（厚生労働省）から講師を招聘し、「働き方改革と賃金」、「人材採用と活用のポイント」、「人材定着化のポイント」をテーマとするセミナーを開催した。

5-(3) デジタル人材の育成

① デジタル技術等を用いた若手人材育成

- ・ 「若手共創塾 MIRAI-WA」を開催し、地域創生を担う若手を対象に、「食と農業」、「食と観光」、「食とSDGs」をテーマとして、産業実務家による講演およびグループワークを実施した（3回、計68名参加）。

② DXを推進するリーダー人材の育成

- ・ 「DX研修会」等を開催し、デジタル技術を駆使して業務変革を目指すリーダー人材の育成支援を実施した（3回、計55名参加）。

③ 産学官連携によるデジタル人材の育成

- ・ 北海道大学における「共同研究型インターンシップ事業」（内閣府戦略的イノベーション創造プログラム）への協力・支援を実施した（27社、学生89名参加）。【新規】
- ・ 「北海道デジタル人材育成推進協議会」（事務局：北海道経済産業局）が実施する以下の取り組みについて、会員企業への周知や参画企業の募集を実施した。
 - 既存PBL（課題解決型学習）ケースバンクの設置（5校7講義）
 - 新規PBL「課題解決プロジェクト」の実施（1校2講義、会員企業2社参画）
 - 実務家教員の派遣（6校8講義、会員企業6社参画）
 - 教員向け合同企業説明会（9月、26社（うち会員企業11社）・11校・教員24名参加）
【5-1(6)再掲】
 - 実践的インターンシップ（3社実施）【5-1(6)再掲】
 - 焚火トーク（3回、計11社・学生27名参加）【5-1(6)再掲】
- ・ 「デジタルリスクリングプログラム」（北海道大学SIP事業）について、会員企業への周知や参画企業の募集を行うとともに、北海道教育委員会への情報提供を実施した（49機関・約2,000名受講）。【期中新規】
- ・ 「障がい者DXリスクリング事業」（札幌市）について、会員企業への周知や参画企業の募集を行うとともに、会員企業5社へのヒアリングを実施した（2回、計43名参加）。
【期中新規】

5-(4) 次世代の経営人材育成

- ・ 会員企業の幹部候補社員等を対象に「次世代経営人財ゼミ特別編」を開催し、会員企業および北海道の将来を担うリーダー人材の育成を目指す取り組みを実施した（5回、12名参加）。

5-(5) 地域産業を牽引する職業人材の育成

① 学生食品コンテストの開催

- ・ 道内の高校生・大学生・専門学校生を対象に「北海道米のおやつコンテスト2024」を開催し、大賞受賞作品を会員企業において商品化し販売した。

② 「マイスター・ハイスクール」への協力

- ・ 文部科学省のマイスター・ハイスクール事業における道内指定校に対し支援を行った。
- ・ マイスター・ハイスクール事業のノウハウを活かし、北海道の農業高校を対象とした「食関連産業人材育成プラットフォーム」を設置し、食品企業の産業実務家講師を幹旋（7件）するとともに、「令和6年度北海道高等学校長協会農業部会第3回学校研究協議会」で発表を行うなど、取り組みの普及拡大を図った。

5-(6) 人事・労務担当者の人材育成支援

- ・ 労働法関連研修、給与計算実務研修などの講座・講習会を開催し、企業等の人事・労務担当者などの人材育成を支援する取り組みを実施した（20 テーマ、21 講座）。
- ・ 「人事・労務管理研究会」を開催し、人事・労務担当者のスキル向上に向けた研鑽および異業種交流に資する取り組みを実施した（3 回、計 24 名参加）。

6. 社会資本の整備と強靱化の推進

6-(1) 社会資本の整備促進

① 物流機能の維持

- ・ 物流の 2024 年問題に関し、道内各地区トラック協会から現状を聴取し取り纏めを実施した。【4-(6)③再掲】
- ・ 「共同輸配送デジタルマッチング事業」（北海道経済産業局）の事業者募集について会員企業への周知を実施した。【4-(6)③再掲】
- ・ 「北海道物流 WEEK2025」（主催：北海道農政事務所、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局、北海道）に参画し、会員企業への情報提供を実施した（2月）。【4-(6)③再掲】
- ・ 物流の共有化システムへの設備投資補助の実施および物流総合効率化法による物流拠点施設への支援継続について、国への要望を実施した。【4-(6)③再掲】
- ・ 北海道新幹線の札幌延伸開業に伴い、北海道旅客鉄道(株)から経営分離される並行在来線「函館―長万部間」の貨物鉄道輸送に関する関係者との協議の動向を注視し、存続に向けた協議の進展に向け、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 「北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流のあり方に関する有識者会議」（事務局：国土交通省、北海道）に構成団体として参画し、物流事業者、荷主事業者等へヒアリングを行うとともに、北海道旅客鉄道(株)（JR 北海道）および日本貨物鉄道(株)の鉄道貨物に関する報告等により現状把握を行った（3回）。
- ・ 第二青函多用途トンネル建設に向けた検討の推進について、国・北海道への継続要望を実施した。

② 北海道新幹線の整備促進

- ・ 北海道新幹線札幌延伸の新たな開業見通しの早期提示、一日も早い札幌延伸開業および青函共用区間における新幹線高速走行問題の早期解決に向け、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 「北海道新幹線建設促進期成会」（会長：北海道知事）において、北海道新幹線「新函館北斗―札幌間」の建設工事促進に関する緊急要望を実施した。
- ・ 「北海道新幹線札幌延伸推進会議」および「同幹事会」（事務局：北海道）に構成団体として参画し、関係者間における情報共有の充実と連携強化を図った。【期中新規】

③ 北海道旅客鉄道(株)（JR 北海道）への支援

- ・ JR 北海道の北海道新幹線札幌延伸開業を機とする経営自立に向けた支援の着実な実施について、国・北海道への要望を実施した。
- ・ 北海道新幹線の利用促進と経済効果の維持・拡大に向けた取り組みについて、北海道への要望を実施した。
- ・ JR 新千歳空港駅の再配置・拡充および空港アクセス増強（石勝線等への接続）の検討について、国・北海道への継続要望を実施した。

④ 高規格道路等の整備促進

- ・ 以下の内容について、国・北海道への要望を実施した。
 - 事業着手済区間の早期開通と未着手区間の早期着手〔継続〕
 - 暫定2車線区間の機能強化〔継続〕
- ・ 以下の内容について、国への要望を実施した。
 - 札幌都心部へのアクセス強化（都心アクセス道路および札幌駅交通ターミナル）の整備促進〔継続〕
 - 追加インターチェンジの整備とジャンクションの改良の推進〔継続〕
 - 冬期の道路交通に必要な施設（防雪柵、雪崩防止柵等）の整備促進
- ・ 「北海道『命のみち』づくりを求める東京大会」（主催：北海道高速道路建設促進期成会等）に参画した（11月）。

⑤ 丘珠空港の利活用推進

- ・ 通年の発着能力・輸送力の向上を目的として、航空会社や札幌市等の関係者と、施設拡充等に関する意見交換を継続的に実施した。
- ・ 滑走路延伸に必要な調査の早期着手、施設の拡充、運用時間の延長等、必要な支援や課題解決策等について、国・北海道への継続要望を実施した。
- ・ 札幌市が滑走路延伸工事の着手と同時に予定しているビジネスジェットの利活用推進において、同市が実施した高付加価値観光需要の創造を目的とする富裕層向けモニターツアーの実施に協力した（2回）。【新規】

⑥ 港湾・漁港の機能強化

- ・ 以下の内容について、国への要望を実施した。
 - 北海道内の洋上風力発電設備の導入促進に向けた早期の拠点機能整備と基地港湾の指定〔継続〕
 - 脱炭素化社会の実現に向けたカーボンニュートラルポートの形成支援〔継続〕
- ・ 【1-(4)再掲】
- 国内・国際物流の機能強化に資する港湾（釧路港、石狩湾新港、苫小牧港）の整備促進〔継続〕
- 船舶の安全な入出港を確保するため、港内静穏度の向上に資する港湾施設の整備促進〔継続〕
- 既存ストックを活用したクルーズ船の受入環境の整備
- 衛生管理型（屋根付き岸壁等）港湾・漁港の整備

6-(2) 国土強靱化の推進

- ・ 以下の内容について、国・北海道への要望を実施した。
 - 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（2021～2025年度）に必要な予算・財源の確保および計画的な事業の推進〔継続〕
 - 対策期間完了後も引き続き継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画の早期策定および国土強靱化に必要な予算・財源の通常予算と別枠での確保〔継続〕
 - 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模災害に対する強靱化の予算拡大と対策実行に向けた市町村への強力な支援〔継続〕
 - 社会資本の整備・管理・更新に必要な予算の確保と地方自治体への支援（インフラメンテナンスの着実な推進等）〔継続〕
- ・ 以下の内容について、国への要望を実施した。
 - 気候変動を踏まえた治水対策の着実な推進としてハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の推進、河川等における浚渫等に係る地方債の特例の延長〔継続〕
 - 国土強靱化の推進および大規模災害時における地方自治体支援のための人員の確保、体制・機能の拡充・強化
 - 国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策の更新
 - 「第9期北海道総合開発計画」の着実な推進のための、北海道開発予算の一括計上、北海道特例の枠組みおよび体制（国土交通省北海道局、北海道開発局）の堅持

7. 会員企業・団体および道外経済団体との連携、諸団体の運営等

7-(1) 会員企業・団体および道外経済団体との交流・連携

- ・ 会員企業・団体と地域が抱える課題の解決に向けた議論や国・北海道への要望活動を通じて、地域の発展と会員間の交流を深めた。
 - 地域会員懇談会の開催（7～2月、5地域、計63会員参加）
後志地域（7月、9会員参加）、函館地域（8月、8会員参加）、
オホーツク地域（10月、10会員参加）、石狩地域（1月、20会員参加）、
苫小牧地域（2月、16会員参加）
 - 新会員懇談会の開催（2月、11会員参加）
- ・ 道外経済団体と各地域での課題解決の取組状況の共有と連携の強化を図り、国・北海道への要望活動や各種活動に反映した。
 - （一社）日本経済団体連合会
第50回北海道経済懇談会の開催（10月）
 - （一社）東北経済連合会、北陸経済連合会
第27回三経連経済懇談会の開催（9月、福井市）、三経連共同要望の実施（11月）
 - （公社）関西経済連合会
コーポレートガバナンスのあり方等に関する意見交換の実施（2月）
 - （一社）中部経済連合会
新たな産業集積やまちづくり、産学官連携をテーマに、次世代半導体等に関する施設視察会の実施（10月）
 - 四国経済連合会【新規】
将来的な四国との間の学校等のマッチングに向け、道内商業高校の授業における教育旅行プランの検討および発表会への協力の実施（11～1月）
 - （一社）九州経済連合会
「さつまいも北海道」プロジェクトにおける情報交換、さつまいも加工場見学の実施（8月）【3-(1)②再掲】
- ・ 2025年大阪・関西万博の機運醸成のため、（公社）日本国際博覧会協会主催の機運醸成委員会への参画、常任理事会での取組紹介、会報誌への広告掲載および道経連通信（メールマガジン）への案内記事掲載を実施した。
- ・ 海外取引支援が進むABCプラットフォーム（（公社）関西経済連合会）の活動状況や関西圏におけるASEAN7ヵ国とのビジネスマッチング成功事例について情報収集を行い、当会における海外支援に向けた準備を実施した。

7-(2) 会員サービスの向上、会員基盤の強化

- ・ 当会創立50周年の記念事業として、次年度定時総会に合わせた記念式典・講演等の企画、50周年記念誌の制作を進めた。
- ・ 会員や関係者への情報提供を行い、当会活動への理解促進を図った。
 - 活動報告会の開催（11月）
 - 北海道経済記者クラブとの懇談会の開催（12月）

- 道経連会報の発行（年 6 回）
- 道経連通信（メールマガジン）の発行（月 2 回）
- ・ 会員へ最新の経済情報を提供し交流を深めるため、経済講演会を開催した（12 月）。
- ・ 会員からの紹介、次世代半導体関連企業や GX 関連企業の北海道進出等を契機に、15 社が新規加入。会員基盤の強化に寄与した。

7-(3) 事務局機能の強化【新規】

- ・ 業務の効率化を目的にデジタル化を進め、生産性向上を実現した。
 - クラウド会計システムの導入による経理・支払業務の効率向上
 - クラウド人事労務システムの導入による労務管理の一元化、経理・労務作業の一本化による効率向上
 - 自動文字起こしサービスの導入による議事録作成業務の効率向上
 - 会議の案内等へのメール・Microsoft Forms 機能の活用による効率向上
 - 会員マイページの構築による会員の利便性向上、事務局の作業効率向上
 - 道経連通信（メールマガジン）の構成変更による可読性向上

7-(4) エネルギーと環境に関する団体の運営

① 「エコロジア北海道 21 推進協議会」の運営

- ・ 「北海道エネルギー基本問題懇話会」（事務局：当会）、「北海道エネルギー対策協議会」（事務局：（一社）北海道商工会議所連合会）と連携して環境・エネルギーに関する先進事例施設の視察会を実施し、知見の蓄積を図った（3 回、計 57 名参加）。【1-(3)再掲】
- ・ セミナー・シンポジウムや環境関連イベントを周知し、環境と経済の好循環の実現に向けた普及啓発・情報発信を実施するとともに、環境関連団体の活動に参画し、普及啓発活動の支援・協力を実施した。
 - 「北海道循環資源利用促進協議会」（事務局：北海道）との「北海道ビジネス EXPO」への共同出展、資源リサイクルセミナーの共催（11 月、約 20 名参加）
 - 「北海道エネルギー基本問題懇話会」との環境・エネルギー関連セミナーの共催（2 月、47 名参加）
 - 「北海道エナジートーク 21」とのエネルギー関連講演会の共催（3 月、約 180 名参加）
 - 「環境道民会議」（事務局：北海道）への参画
 - （一社）北海道環境保全技術協会、NPO 法人北海道バイオ産業振興協会が実施する普及啓発活動への参画
- ・ 助成事業を実施し、会員の調査・研究技術開発の支援を実施した（8 月）。

② 「北海道エネルギー基本問題懇談会」の運営

- ・ 「エコロジア北海道 21 推進協議会」等の関係機関と連携して、環境・エネルギーに関する先進事例施設の視察・セミナー・講演会を実施した。

7-(5) 北海道の使用者団体としての活動

① 経団連・道内外の経営者協会との連携による取り組み（「北海道経営者協議会」の運営）

- ・ 経団連主催の「労働法フォーラム」、「労使フォーラム」、「地方団体長会議」等に参画し情報共有を行うとともに、「経理労働政策特別委員会報告」の一次案に対する会員意見の集約を実施した。
- ・ 「労働政策幹事会」を開催し、賃上げ・最低賃金等に係る会員意見の集約や雇用・労働分野における課題の協議を実施した（2回、計19名参加）。
- ・ 「経営者協会連絡会議」を開催し、地域の雇用・労働問題に係る情報共有、意見交換を実施した（10月、8名参加）。
- ・ 「労働法制セミナー」を開催し、カスタマーハラスメントの現状・対策に係る講演を実施した（9月、96名参加）。
- ・ 連合北海道と道内経済5団体（当会、（一社）北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道経済同友会、北海道中小企業団体中央会）による「春季労使懇談会」を実施した（3月）。
- ・ 「パートナーシップ構築宣言」について会員へ周知し宣言を促すとともに、実効性確保に取り組み、構造的な賃上げに向けた機運醸成を図った。**【新規】**
- ・ 定例調査において、「賃上げ・価格転嫁の状況」、「総労働時間、DXの取り組み」に関する調査を実施した。**【新規】**

② 労働分野の公職活動の実施

- ・ 労働紛争解決機関（労働委員会、労働審判）へ参画して意見具申するとともに（1案件3回審議）、使用者委員の推薦管理を実施した（推薦者11名）。
- ・ 北海道労働局や北海道の三者構成（公労使）による各種審議会・委員会へ参画し、意見具申するとともに、使用者委員の推薦管理を実施した（推薦者7名）。

③ 人事・労務課題の解決に向けた情報提供

- ・ 5調査（春季賃上要求妥結状況調査報告、夏季賞与要求妥結状況調査報告、燃料手当支給実態調査報告、冬季賞与要求妥結状況調査報告、「経営・雇用状況」に関する調査）を実施し、会員企業への情報提供を実施した。
- ・ 弁護士および特定社会保険労務士による無料の人事・労務相談を実施した（2社）。
- ・ 法制度の改正や行政機関からの各種周知・依頼事項について、会員企業への情報発信を実施した（117記事）。

8. 主要活動の総括

8-1. 総会・役員会

(1) 総会

◎第 50 回定時総会（2024 年 6 月 11 日）

〔議 案〕

- ・第 1 号議案 2023 年度事業報告
- ・第 2 号議案 2023 年度 収支決算
- ・第 3 号議案 2024 年度事業計画
- ・第 4 号議案 2024 年度 収支予算
- ・第 5 号議案 役員の選任

(2) 理事会・常任理事会

◎第 274 回常任理事会・第 98 回理事会合同会議（2024 年 5 月 9 日）

〔審議事項〕

- ①役員の補充選任について
- ②会員の入会について
- ③第 50 回定時総会付議事項について

- ・2023 年度 事業報告（案）
- ・2023 年度 収支決算（案）
- ・2024 年度 事業計画（案）
- ・2024 年度 収支予算（案）
- ・役員の選任（案）

〔報告事項〕

- ・2025 年度政府予算要望（案）について

◎第 99 回理事会（2024 年 6 月 11 日）

〔審議事項〕

- ・役員担務の委嘱などについて

◎第 275 回常任理事会（2024 年 7 月 4 日）

〔審議事項〕

- ①役員の補充選任について
- ②会員の入会について

〔報告事項〕

- ・北海道新産業創造機構（ANIC）の取り組みと今後の対応について

〔取り組みのご紹介〕

- ・「大阪・関西万博の全体概要と関与方法について」

北海道経済産業局 地域経済部 地域経済課長 天池 毅裕 氏

〔講 話〕

- ・「第 9 期北海道総合開発計画について」

前国土交通省北海道局長

北海道大学創成研究機構 客員教授 橋本 幸 氏

◎第 276 回常任理事会（2024 年 9 月 5 日）

〔審議事項〕

- ①役員の補充選任について

②会員の入会について

[報告事項]

①2025 年度政府予算要望の実施概要について

②2024 年度北海道の施策及び予算に関する要望の結果評価と 2025 年度北海道の施策及び予算に関する要望の骨格について

③第 27 回三経連経済懇談会の開催概要について

④第 70 回北海道経済懇談会の開催概要について

[講 話]

①「経済安全保障の確保に向けて ～技術・データ・製品等の流出防止～」

北海道公安調査局 調査第二部長 高橋 龍介 氏

②「札幌市における官民共創の推進について」

札幌市まちづくり政策局 公民・広域連携室長 玉井 和史 氏

◎第 277 回常任理事会（2024 年 11 月 14 日）

[審議事項]

①役員の補充選任について

[報告事項]

①2025 年度北海道の施策及び予算に関する要望（案）について

②中部経済連合会・北海道経済連合会 合同視察会開催報告

[講 話]

・「人手不足下における労働行政の課題と取組」

厚生労働省 北海道労働局長 三富 則江 氏（当会参与）

◎第 278 回常任理事会（2025 年 1 月 16 日）

[審議事項]

①会員の入会について

[報告事項]

①「2025 年度北海道の施策及び予算に関する要望」の実施状況について及び「2026 年度政府予算要望」について

②Black FRIDAY 企画 2024 実施報告

③三経連共同の要望活動の実施について

④2025 年度年間行事予定について

[取り組みのご紹介]

・「北海道大学デジタルリスキリングプログラム（DREP）について」

北海道大学副学長（IR、D-RED、数理データサイエンス）

総合イノベーション創発機構 データ駆動型融合研究創発拠点長 長谷山 美紀 氏

[講 話]

・「北海道国立大学機構の挑戦 ～産学官金連携における地方創生の中核として」

国立大学法人北海道国立大学機構 理事長 長谷山 彰 氏

◎第 279 回常任理事会（2025 年 3 月 6 日）

〔審議事項〕

- ①役員の補充選任について

〔報告事項〕

- ①2026 年度政府予算要望（案）について
②地方創生・地域課題解決・地域 DX チームについて
③2025 年度事業計画（案）について
④任期満了に伴う次期委員会の委員および委員長・副委員長の委嘱について

〔講 話〕

- ①「ビジネスと人権への対応 ～企業における人権尊重の取組～」

札幌法務局 人権擁護部長 渡邊 英介 氏

- ②「公園を新しいパブリックスペースにする 新渡戸遠友リビングラボプロジェクト」
（一社）新渡戸遠友リビングラボ（NELL） 理事長 小篠 隆生 氏

(3) 会長・副会長会議

◎第 1 回（2024 年 4 月 11 日）

- 〔議 題〕 ①2023 年度事業報告（案）および 2024 年度事業計画（案）について
②2023 年度収支決算（案）および 2024 年度収支予算（案）について
③2025 年度政府予算要望（案）について

◎第 2 回（2024 年 5 月 22 日）

- 〔議 題〕 ①役員担務の委嘱（案）について
②第 50 回定時総会・第 99 回理事会等の開催概要について
③北海道新幹線の札幌延伸について

◎第 3 回（2024 年 7 月 18 日）

- 〔議 題〕 ①第 27 回三経連経済懇談会の開催概要について
②2024 年度地域懇談会の開催概要について
③北海道米のおやつコンテスト 2024 について

◎第 4 回（2024 年 9 月 19 日）

- 〔議 題〕 ①「2025 年度北海道の施策及び予算に関する要望」の方針について
②北海道 MaaS の取り組みについて
③2024 年度活動報告会の開催について

◎書面開催（2024 年 10 月 7 日）

- 〔議 題〕 ①道内与党議員候補の推薦について

◎第 5 回（2024 年 10 月 23 日）

- 〔議 題〕 ①「2025 年度北海道の施策及び予算に関する要望」（案）について
②「2050 北海道ビジョン」の実現に資する取り組みへの支援方法の拡充について

◎第 6 回（2024 年 12 月 12 日）

- 〔議 題〕 ①「2025 年度北海道の施策及び予算に関する要望」の実施状況について
②三経連共同の要望活動の実施について

③2025 年度年間行事予定（案）について

④第 38 回北海道ビジネス EXPO の実施について

◎第 7 回（2025 年 2 月 13 日）

〔議 題〕①「2026 年度政府予算要望」の基本的考え方と要望の骨格について

②道経連による市町村聞き取り調査の概要と「地方創生・地域課題解決・地域 DX チーム」の設置について

③2025 年度事業計画（案）について

④任期満了に伴う次期委員会の委員長・副委員長および委員の委嘱について

◎第 8 回（2025 年 3 月 13 日）

〔議 題〕①2026 年度政府予算要望（案）について

②創立 50 周年記念式典・記念祝賀会・第 51 回定時総会・第 101 回理事会について

8-2. 委員会活動

(1) 産業振興委員会

◎産業振興委員会

・第 1 回（2024 年 10 月 2 日）

〔議 題〕①2024 年度事業計画および上期活動報告（産業振興グループ）

②2024 年度事業内容及び上期活動報告について（食クラスターグループ）

③ゼロカーボン・産業立地 G および（一社）北海道新産業創造機構の活動について（ゼロカーボン・産業立地グループ）

④「2025 年度北海道の施策及び予算に関する要望」の方針について

〔参 加〕15 名

・第 2 回（2025 年 3 月 3 日）

〔議 題〕①2024 年度下期事業活動報告および 2025 年度事業計画（案）（産業振興グループ）

②2024 年度下期事業報告・2025 年度事業計画（案）（食クラスターグループ）

③2024 年度下期事業活動報告および 2025 年度事業計画（案）（ゼロカーボン・産業立地グループ）

④「2026 年度政府予算要望（案）」について

〔参 加〕13 名

(2) 地域政策委員会

◎地域政策委員会

・第 1 回（2024 年 9 月 20 日）

〔議 題〕①2024 年度事業計画および上期活動報告について

②北海道 MaaS の取り組みについて

③2025 年度 国の施策及び予算に関する要望について

④2025 年度 北海道の施策及び予算に関する要望について

[情報提供]「新たな北海道総合計画について」

北海道総合政策部 計画局 計画推進課長 菅原 伸一 氏

[参 加]16 名

・第 2 回（2025 年 3 月 4 日）

[議 題] ①北海道 MaaS 網走実証実験結果と来年度の取り組みについて

②2024 年問題の物流事業者への影響等について

③「2026 年度政府予算要望（案）」について

④2025 年度事業計画（案）について

[情報提供]「リスク情報による防災行動の促進について」

北海道大学大学院 工学研究院

特任教授 石塚 宗司 氏、教授 山田 朋人 氏

[参 加] 15 名

(3) 労働政策委員会

◎労働政策委員会

・第 1 回（2024 年 9 月 25 日）

[議 題] ①2024年度上期活動報告

②2025年度 北海道の施策及び予算に関する要望

[参 加] 8 名

・第 2 回（2025 年 3 月 11 日）

[議 題] ①2024 年度下期活動報告

②2025 年度事業計画（案）

③「2025 年度政府予算要望の反映状況」と「2026 年度政府予算要望に対する会員意見について」

[参 加] 8 名

◎労働政策幹事会

・第 1 回（2024 年 7 月 12 日）

[議 題] ①「2023 年度 経営・雇用調査報告」について

②「2024 年度 賃上げ要求 妥結状況調査」について

③「2024 年度 北海道地方最低賃金審議会」への対応について

[参 加] 9 名

・第 2 回（2025 年 2 月 4 日）

[議 題] ①2025 年 経営労働政策特別委員会報告

講師 （一社）日本経済団体連合会

労働政策本部統括主幹 阿部 博司 氏

[参 加] 10 名

8-3. 会員との懇談会

(1) 地域会員懇談会

当会事業活動の情報提供、会員相互の情報交換および全体意見交換

◎後志地域会員懇談会（2024年7月23日、小樽市）

〔参加〕9名（小樽地域会員5名、藤井会長ほか）

◎函館地域会員懇談会（2024年8月20日、函館市）

〔参加〕8名（函館地域会員4名、高田専務理事ほか）

◎オホーツク地域会員懇談会（2024年10月28日、北見市）

〔参加〕10名（オホーツク地域会員6名、藤井会長ほか）

◎石狩地域会員懇談会（2025年1月29日、札幌市）

〔参加〕20名（石狩地域会員12名、藤井会長、荒井副会長、津山副会長ほか）

◎苫小牧地域会員懇談会（2025年2月20日、苫小牧市）

〔参加〕16名（苫小牧地域会員11名、藤井会長、高橋副会長ほか）

(2) 新会員懇談会（2025年2月27日、札幌市）

当会事業活動の情報提供、会員相互の情報交換および全体意見交換

〔参加〕19名（新会員11名、藤井会長、大西副会長、関副会長ほか）

8-4. 関係経済団体との懇談会等

(1) (公社)2025年日本国際博覧会協会 機運醸成委員会

・第3回総会（2024年4月4日）

〔議題〕「機運醸成行動計画 ver.2」について ほか

〔参加〕松本委員長（関西経済連合会会長）、久保田副委員長（日本経済団体連合会副会長・事務総長）、吉村副委員長（大阪府知事）ほか

当会 藤井会長（オンライン）

・第4回総会（2024年10月3日）

〔議題〕「機運醸成行動計画 ver.2」に基づく活動の状況 ほか

〔参加〕松本委員長（関西経済連合会会長）、久保田副委員長（日本経済団体連合会副会長・事務総長）、吉村副委員長（大阪府知事）ほか

当会 高田専務理事（オンライン）

(2) (一社)九州経済連合会との意見交換会（2024年8月26日）

〔参加〕九州経済連合会6名（倉富会長、堀江専務理事、田中常務理事、中川事務局長、事務局）、当会6名（藤井会長、本田調査局長、事務局）

〔内容〕食クラスター・半導体関連に係る意見交換

(3) (一社)東北経済連合会・北陸経済連合会・当会（三経連）

◎第 27 回三経連経済懇談会・視察会（2024 年 9 月 10～11 日、福井県福井市）

＜三経連経済懇談会＞

〔テーマ〕震災からの復旧・復興と「新・地方創生」に向けて

〔参 加〕68 名（東北経済連合会 増子会長ほか、北陸経済連合会 金井会長ほか、
当会 藤井会長ほか）

＜視察会＞

〔視察先〕NICCA イノベーションセンター、永平寺

〔参 加〕35 名（東北経済連合会 増子会長ほか、北陸経済連合会 金井会長ほか、
当会 藤井会長ほか）

(4) (一社)日本経済団体連合会・当会

◎第 70 回北海道経済懇談会・視察会（2024 年 10 月 8～9 日）

＜北海道経済懇談会＞

〔基本テーマ〕変革する北海道のさらなる発展に向けて

- ・テーマ 1 GX・DX を転機とした北海道経済の発展
- ・テーマ 2 北海道の魅力・強みを活かした「食」「観光」の振興
- ・テーマ 3 北海道の持続的発展を支える多様な人材の確保

〔参 加〕約 160 名（日本経済団体連合会 十倉会長ほか、当会 藤井会長、副会長ほ
か）

＜視察会＞

〔視察先〕ウポポイ民族共生象徴空間

〔参 加〕34 名（日本経済団体連合会 十倉会長ほか、当会 藤井会長ほか）

(5) (一社)中部経済連合会「中部地域視察会」（2024 年 10 月 15～16 日）

〔視察先〕1 日目 Rapidus(株)、北広島市役所、北海道ボールパーク F ビレッジ

2 日目 北海道大学北海道ワイン教育研究センター、北海道ワイン(株)

〔参 加〕中部経済連合会 6 名（水野会長、増田専務理事、事務局）当会 8 名（藤井会長、
高田専務理事ほか）

(6) 北海道・東北官民トップ会合（2024 年 11 月 6 日、仙台市）

〔テーマ〕震災・水害等、災害からの復興、災害に強い国づくりに向けて

〔参 加〕北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・新潟県知事、
(株)日本政策投資銀行 地下代表取締役社長、(一社)東北経済連合会 増子会長、
東北六県商工会議所連合会 藤崎会長、(一社)新潟県商工会議所連合会 福田会
頭、当会 藤井会長ほか

〔内 容〕藤井会長よりテーマに基づく取組や問題認識等について説明

(7) 2024 年度各地経済団体専務理事会議 (2024 年 11 月 8 日、広島市)

〔議 題〕 ①日本経済団体連合会からの報告

②地域経済活性化に向けた各地における広域連携の取り組みと課題

③経済懇談会の進め方

〔参 加〕 (一社) 日本経済団体連合会 久保田副会長・事務総長、藤原専務理事、各地経
連専務 理事、当会 高田専務理事

(8) (公社)2027 年国際園芸博覧会協会 財務委員会

・第 3 回 (2024 年 2 月 5 日)

〔議 題〕 財務委員会の委員の新任、2027 年国際園芸博覧会の準備進捗状況、会場建設費
への寄付金額の推移、2027 年国際園芸博覧会寄付金募集計画の進捗状況、財務
委員会実行委員会委員の選任

〔参 加〕 宮永委員長 (元日本経済団体連合会副会長)、当会 高田専務理事 (オンライン)

(9) コーポレートガバナンスに関する意見交換 (オンライン) (2025 年 2 月 28 日)

〔参 加〕 (公社) 関西経済連合会、当会 小林常務理事ほか

8-5. 意見交換会等

(1) 北海道経済産業局 情報交換会 (2024 年 5 月 15 日)

〔議 題〕 当会より「2025 年度 国の施策及び予算に関する」要望について
北海道経済産業局より「2024 年度の取り組みについて」

〔参 加〕 北海道経済産業局 10 名、当会 17 名 (水野専務理事ほか)

(2) 人事・労務管理研究会

・第 1 回 (2024 年 7 月 19 日)

〔テーマ〕 「働き方改革と賃金」～人材獲得競争を勝ち抜く賃金戦略

〔講 師〕 北海道働き方改革推進支援センター

コンサルタント・特定社会保険労務士 間山 祐一 氏

〔参 加〕 8 名 (7 社)

・第 2 回 (2024 年 12 月 10 日)

〔テーマ〕 「人材採用と活用のポイント」～効果的な求人技術と採用戦略

〔講 師〕 北海道働き方改革推進支援センター

コンサルタント・特定社会保険労務士 間山 祐一 氏

〔参 加〕 7 名 (7 社)

・第 3 回 (2024 年 2 月 26 日)

〔テーマ〕 「人材定着化のポイント」

〔講 師〕 北海道働き方改革推進支援センター

コンサルタント・特定社会保険労務士 間山 祐一 氏

〔参 加〕 11 名 (11 社)

(3) 経営者協会連絡会議 (2024 年 10 月 3 日)

[テーマ] ①「シニア人材雇用の現状と活躍推進について」

講師 (公財) 産業雇用安定センター 所長 阿部 匡 氏

②雇用状況報告・各地区の雇用状況についての報告・意見交換

[参 加] 8 名 (内、旭川、函館、釧路各経協より 1 名参加、当会 5 名)

(4) 北海道経済記者クラブとの懇談会 (2024 年 12 月 12 日)

[参 加] 26 名 (北海道経済記者クラブ加盟社記者 20 名、当会 藤井会長、副会長)

8-6. 協議会等の活動

(1) 北海道経営者協議会

◎日本経済団体連合会地方団体長会 (2024 年 12 月 12 日)

◎日本経済団体連合会地方・業種団体情報連絡会 (2024 年 4 月 16 日、5 月 16 日、6 月 20 日、7 月 23 日、9 月 26 日、10 月 22 日、11 月 19 日、12 月 19 日、2025 年 2 月 18 日)

◎日本経済団体連合会地方団体連絡協議会 (2024 年 5 月 23 日、7 月 18 日、10 月 25 日)

◎日本経済団体連合会労働フォーラム (2024 年 7 月 11~12 日、11 月 11~12 日)

◎日本経済団体連合会労使フォーラム (2025 年 1 月 31 日)

(2) 食クラスター連携協議体

◎総括チーム会議

- ・ 2024 年度第 1 回 (2024 年 5 月 14 日)
- ・ 2024 年度第 2 回 (2024 年 6 月 21 日)
- ・ 2024 年度第 3 回 (2024 年 7 月 29 日)
- ・ 2024 年度第 4 回 (2024 年 9 月 9 日)
- ・ 2024 年度第 5 回 (2024 年 10 月 24 日)
- ・ 2024 年度第 6 回 (2024 年 12 月 11 日)
- ・ 2024 年度第 7 回 (2025 年 1 月 15 日)
- ・ 2024 年度第 8 回 (2025 年 2 月 20 日)
- ・ 2024 年度第 9 回 (2025 年 3 月 17 日)

◎試作・実証・製造プラットフォーム (フード特区機構解散に伴い、当会で事業を継承)

- ・ [相 談 件 数] 62 件 (前年-17 件)
- ・ [マッチング件数] 45 件 (前年-24 件)
- ・ [パートナー企業] 108 社 (前年±0 社)

◎道産食品輸出拡大会議

- ・ 第 39 回会議 (2024 年 4 月 17 日)

[テ ィ マ] 当会議体で優先的に取り組むべき課題の情報共有 ほか

- ・第 40 回会議（2024 年 5 月 28 日）
 [テ ー マ] 各機関の輸出関連諸施策に関する意見交換
 [意見交換] 函館税関 監視部保税地域監督官 上席調査官 伊藤 隆 氏
 業務部原産地調査官兼知的財産調査官 増田 貴寛 氏
- ・第 41 回会議（2024 年 7 月 4 日）
 [テ ー マ] 各機関の輸出関連諸施策に関する意見交換
 [意見交換] 国分北海道(株) 地域共創部事業共創課 課長補佐 河内 幸人 氏
- ・第 42 回会議（2024 年 8 月 27 日）
 [テ ー マ] 各機関の輸出関連諸施策に関する意見交換
 [意見交換] (株)フランクジャパン 営業推進部 ディレクター 岩井 隆人 氏
- ・第 43 回会議（2024 年 10 月 7 日）
 [テ ー マ] 各機関の輸出関連諸施策に関する意見交換
 [意見交換] (一社)北海道国際流通機構 代表理事 鳥取 義之 氏
- ・第 44 回会議（2024 年 11 月 25 日）
 [テ ー マ] 各機関の輸出関連諸施策に関する意見交換
 [意見交換] (公財)日本台湾交流協会台北事務所 主任 野田 広宣 氏
- ・第 45 回会議（2025 年 2 月 14 日）
 [テ ー マ] 輸出関連諸施策に関する R6 年度総括と R7 年度の対応 ほか

(3) 北海道環境教育等推進懇談会（事務局：北海道）

- ◎第 1 回（2024 年 6 月 7 日）
- ◎第 2 回（2024 年 9 月 3 日）
- ◎第 3 回（2024 年 10 月 17 日）
- ◎第 4 回（2025 年 2 月 5 日）
- [参 加] 佐々木次長

(4) エコロジア北海道 21 推進協議会

- ◎2024 年度定時総会（2024 年 7 月 18 日）
 - ・出席 18、委任状 26（会員 52）
- ◎2024 年度定時総会記念講演会（2024 年 7 月 18 日）
 - ・「地域活性化とカーボンニュートラル普及活動に寄与する『水素を用いた再エネ 100% 工場』の構築」
 - 五洋建設(株)技術研究所 建築技術開発部 ZEB グループ係長 長谷川 徹 氏
- ◎理事会（2024 年 6 月 27 日（書面開催））
- ◎幹事会（2024 年 6 月 27 日（書面開催）、8 月 26 日（対面開催））
- ◎視察会（2024 年 5 月 22～24 日）広島県海田町、大崎上島町、広島市安佐北区（※4）
 - ・海田バイオマス発電所、NEDO カーボンリサイクル実証拠点、山陽レック（14 名参加）
- ◎視察会（2024 年 9 月 17 日）泊村、小樽市（※4）
 - ・泊発電所、石狩湾新港発電所（24 名参加）

◎視察会（10月4日）苫小牧市（※4）

- ・苫小牧 CCS 実証試験センター、苫東厚真発電所（19名参加）

◎北海道ビジネス EXPO（資源リサイクルフォーラム）（2024年11月7～8日）（※5）

- ・エコロジア、北海道循環資源利用促進協議会の活動を展示
- ・エコロジア会員企業（㈱アールアンドイー、㈱環境技建、ナラサキ産業㈱、㈱白石ゴム製作所、日本製鉄㈱、㈱環境科学開発研究所、㈱公清企業）の環境・リサイクル・脱炭素に関するビジネス・製品の展示

◎北海道ビジネス EXPO（資源リサイクルセミナー）（2024年11月7日）（20名参加）（※5）

- ・「廃棄漁網を活用した商品、仕組みづくりのご紹介」
（一社）Alliance for the Blue 代表理事 野村 浩一 氏
- ・「トレーサビリティプラットフォームを活用したサーキュラーエコノミーへの取り組み
～BLUE Plastics プロジェクト～」

旭化成㈱ デジタル共創本部 下野 雅樹 氏

（※4）北海道エネルギー基本問題懇談会、北海道エネルギー対策協議会との共催

（※5）北海道循環資源利用促進協議会との共催

（5）北海道エネルギー基本問題懇談会

◎第40回総会・記念視察会（2024年8月19日）

総 会：出席19、委任状21（会員45）

記念視察会：（一社）北海道電気保安協会 札幌中央事務所<ZEB 建築物>（16名参加）

◎第89回幹事会（2024年6月28日 ※書面開催）

◎視察会（2024年5月22～24日）広島県海田町、大崎上島町、広島市安佐北区（※6）

- ・海田バイオマス発電所、NEDO カーボンリサイクル実証拠点、山陽レック（14名参加）

◎視察会（2024年9月17日）泊村、小樽市（※6）

- ・泊発電所、石狩湾新港発電所（24名参加）

◎視察会（10月4日）苫小牧市（※6）

- ・苫小牧 CCS 実証試験センター、苫東厚真発電所（19名参加）

（※6）エコロジア北海道21推進協議会、北海道エネルギー対策協議会との共催

8-7. 審議会・外部委員会等

（1）北海道労働委員会（事務局：北海道）

◎2024年度総会

（22回開催：2024年4月12日、4月16日、5月10日、5月24日、6月17日、6月28日、7月16日、7月26日、8月9日、9月13日、9月27日、10月11日、10月22日、11月8日、11月22日、12月13日、12月23日、2025年1月10日、2月14日、2月28日、3月14日、3月28日）

(2) 北海道総合開発委員会（事務局：北海道）

◎第1回（2024年4月25日（書面開催））

〔議題〕(1) 委員長及び副委員長の選任について

◎第2回（2024年5月9日（書面開催））

〔議題〕①「専門部会」の設置について

②「専門部会」の部会員の指名と部会長、副部会長の選任について

③「専門部会」への審議事項の付託について

◎第3回（2024年6月3日）

〔議題〕①新たな総合計画（最終案・事務局案）について

②新たな総合計画における点検・評価について

③新たな総合計画の普及について

④令和5年度北海道総合計画の推進状況について

⑤その他

〔参加〕水野専務理事

◎第1回計画部会（2024年5月29日）

〔議題〕①新たな総合計画（最終案・事務局案）について

②新たな総合計画における点検・評価について

③新たな総合計画の普及について

④その他

〔参加〕水野専務理事

(3) 北海道子どもの未来づくり審議会（事務局：北海道）

◎2024年度第1回 2024年5月17日

◎2024年度第2回 2024年8月22日

◎2024年度第3回 2025年1月27日

・専門部会（こども施策部会）

◎2024年度第1回 2024年5月24日

◎2024年度第2回 2024年8月22日

◎2024年度第3回 2024年11月1日

◎2024年度第4回 2025年1月24日

・専門部会（こども・子育て支援部会）

◎2024年度第1回 2024年8月26日

◎2024年度第2回 2024年10月29日

◎2024年度第3回 2025年1月15日

(4) 北海道創生協議会（事務局：北海道）

◎第1回（2024年5月22日）

- 〔議題〕①北海道創生総合戦略の今年度の推進方向等について
②第2期北海道創生総合戦略の検証報告について
③次期北海道創生総合戦略の策定について
④意見交換

〔参加〕藤井会長（鈴木知事との共同座長）

◎第2回（2024年11月26日）※書面開催

- 〔議題〕①「北海道人口ビジョン（2024年度改訂版）」及び「第3期北海道創生総合戦略」素案について
②「第2期北海道創生総合戦略」の推進状況について

◎第3回（2025年2月5日）

- 〔議題〕①北海道人口ビジョン（2024年度改訂版 原案・事務局案）及び第3期北海道創生総合戦略（原案・事務局案）について
②意見交換

〔参加〕藤井会長（鈴木知事との共同座長）

(5) 北海道内7空港の一体的運営に関する協議会（2024年5月29日）（事務局：北海道エアポート(株)）

〔参加〕水野専務理事

(6) 北海道環境審議会（事務局：北海道）

◎2024年度第1回（2024年6月5日）

◎2024年度第2回（2024年8月22日）

◎2024年度第3回（2024年11月15日）

◎2024年度第5回（2025年1月28日）

◎循環型社会推進部会（2024年6月14日（欠席）、10月25日（欠席））

◎地球温暖化部会（2025年1月28日）

〔参加〕大橋理事・事務局長

(7) 北海道社会福祉審議会（事務局：北海道）

◎2024年度会議（2024年6月7日）

(8) 北海道企業誘致推進会議（事務局：北海道）

◎総会（2024年6月12日）

◎臨時総会（2025年3月28日）

〔参加〕船矢常務理事

(9) 令和 6 年度北海道商工業振興審議会（事務局：北海道）

◎第 1 回（2024 年 6 月 19 日）

〔参 加〕 水野専務理事

◎第 2 回（2025 年 1 月 29 日）

〔参 加〕 高田専務理事

(10) 北海道地方最低賃金審議会（事務局：北海道労働局）

・ 審議会

◎2024 年度第 1 回（2024 年 7 月 3 日）

◎2024 年度第 2 回（2024 年 7 月 29 日）

◎2024 年度第 3 回（2024 年 8 月 5 日）

◎2024 年度第 4 回（2024 年 8 月 21 日）

・ 専門部会

◎2024 年度第 1 回（2024 年 7 月 22 日）

◎2024 年度第 2 回（2024 年 7 月 30 日）

◎2024 年度第 3 回（2024 年 7 月 31 日）

◎2024 年度第 4 回（2024 年 8 月 1 日）

◎2024 年度第 5 回（2024 年 8 月 2 日）

(11) 北海道就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム（事務局：北海道労働局）

◎第 8 回会議（2024 年 7 月 8 日）

(12) 北の縄文道民会議・役員会（2024 年 7 月 15 日）（事務局：北の縄文道民会議事務局）

〔参 加〕 小林常務理事ほか

(13) 北海道地域活性化雇用創造プロジェクト北海道事業協議会（事務局：北海道）

◎2024 年度第 1 回（2024 年 8 月 22 日）

◎2024 年度第 2 回（2025 年 1 月 6 日（書面開催））

(14) 北海道環境道民会議（事務局：北海道）

◎企画委員会（2024 年 9 月 30 日）欠席

◎総会（2024 年 11 月 18 日）

〔参 加〕 佐々木次長（エコロジア北海道 21 推進協議会事務局）

(15) 北海道男女平等参画審議会（事務局：北海道）

◎2024 年度第 1 回（2024 年 10 月 30 日）

◎2024 年度第 2 回（2025 年 1 月 28 日）

(16) 北海道地方労働審議会（事務局：北海道労働局）

◎2024 年度第 1 回（2024 年 11 月 8 日）

◎2024 年度第 2 回（2025 年 3 月 7 日）

(17) 北海道労働審議会（事務局：北海道）

◎2024 年度第 1 回会議（2024 年 12 月 4 日）

◎2024 年度第 2 回会議（2025 年 1 月 27 日）

(18) 北海道働き方改革・雇用環境改善推進協議会（事務局：北海道労働局）

◎2024 年度会議（開催なし）

◎北海道政労使会議（2025 年 1 月 22 日）

〔議 題〕物価上昇を上回る賃上げに向けた環境整備の取組み強化

〔構成員〕13 名（北海道、札幌市、北海道経済産業局、北海道労働局、当会、
（一社）北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、日本労働組合総連合
会北海道連合会、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、（一社）北海道信用金庫協会、
公正取引委員会事務総局北海道事務所）

〔参 加〕藤井会長

(19) 令和 6 年度北の輝く女性応援会議（事務局：北海道）

◎2024 年度会議（2025 年 3 月 21 日）

(20) 第 3 回北海道パートナーシップ構築宣言普及促進会議（2025 年 3 月 27 日）

（事務局：北海道経産局、北海道）

〔参 加〕大橋理事・事務局長ほか

(21) 北海道消費生活審議会（事務局：北海道）

◎次回審議会未定（2024 年 11 月委員就任（大橋理事・事務局長））

8-8. 提言・要望・要請活動等

◎2025 年度国の施策及び予算に関する要望

（中央省庁・与党：2024 年 6 月 13～14 日）

〔要望先〕内閣府、経済産業省、国土交通省、文部科学省、農林水産省、厚生労働省、
環境省、総務省、法務省、自由民主党、公明党

〔当 会〕藤井会長、高田専務理事ほか

（国の出先機関：2024 年 6 月 13～14 日）

〔要望先〕北海道労働局、北海道開発局、北海道経済産業局、北海道総合通信局、
北海道地方環境事務所、北海道運輸局、札幌出入国在留管理局、
北海道農政事務所、

〔当 会〕藤井会長、高田専務理事ほか

◎北海道新幹線札幌延伸推進会議・幹事会

- ・第1回推進会議（2024年7月27日） ※第1回幹事会（2024年7月26日）

〔議題〕①北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）工事の概況について

②5/8の機構報告を受けた国交省の対応状況 等

〔参加〕藤井会長 ※幹事会 高田専務理事

- ・第2回幹事会（2024年10月11日）

〔議題〕羊蹄トンネル視察

〔参加〕沿線自治体、国、道、（独）鉄道運輸機構、JR北海道（当会欠席）

◎新千歳空港等に対する支援の要望（2024年8月7日）

〔要望先〕国土交通省 齊藤大臣

〔要望元〕（一社）北海道商工会議所連合会、（公財）北海道観光機構、
北海道エアポート(株)、当会

〔要望事項〕①国管理空港の強靱化の実施

②航空機燃料の不足に対する支援

〔参加〕大西副会長

◎北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流のあり方に関する有識者検討会議

- ・第3回（2024年8月8日）

〔議題〕荷主・物流事業者へのヒアリング

〔参加〕水野専務理事

- ・第4回（2024年11月6日）

〔議題〕荷主、物流事業者へのヒアリング

〔参加〕高田専務理事

- ・第5回（2025年1月15日）

〔議題〕貨物輸送の現状について

〔参加〕高田専務理事

◎三経連共同要望（2024年11月13日）

<東北経済連合会・北陸経済連合会・当会の共同要望>

〔要望先〕自由民主党 森山幹事長、内閣府 伊東特命担当大臣（沖縄及び北方対策、消費者及び食品安全、地方創生、アイヌ施策）、農林水産省 滝波副大臣、経済産業省 飯田事務次官、国土交通省 中野大臣、国土交通省 水嶋審議官、内閣府 坂井特命担当大臣（防災、海洋政策）、

〔参加〕東経連 増子会長、北経連 金井会長、当会 藤井会長ほか

〔内容〕藤井会長から、以下の項目について要望

次世代半導体工場の建設・操業に向けた強力な支援、半導体人材の確保・育成への支援、半導体関連産業の集積・道内企業との連携構築に向けた支援、GX 投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援、

北海道の生産空間維持やスマート農業の推進に不可欠な農業・農村基盤整備、林業・水産業の復興に資する取り組みへの推進（豊かな森づくりと道産木材の活用推進、水産物の国内消費拡大に向けた支援策の継続）、新千歳空港の早急な機能強化（滑走路の増設等の検討、スマートレーンの導入等による新千歳空港の受け入れ体制の強化）、「北海道 MaaS の実現」等、北海道における「共創・MaaS 実証プロジェクト」の推進

◎2025 年度北海道の施策および予算に関する要望（2024 年 11 月 26 日～12 月 4 日）

〔要望先〕 鈴木知事、関係部局、道議会自民党、道議会公明党

〔当 会〕 藤井会長、高田専務理事ほか

9. 講演会・セミナー等

9-1. 当社主催・共催など

(1) 第 50 回定時総会 記念講演会 (2024 年 6 月 11 日)

[講 演] 「北海道の未来づくりに向けて ～変化への対応～」

[講 師] 北海道副知事 三橋 剛

[講 演] 「Team Sapporo-Hokkaido の取組と GX 金融・資産運用特区を契機としたまちの将来像」

[講 師] 札幌市まちづくり政策局長 浅村 晋彦 氏

[参 加] 160 名(会員、藤井会長、副会長、高田専務理事ほか)

(2) 活動報告会 (2024 年 11 月 1 日)

[講 演] 「カーボンニュートラルへの挑戦 「1.5℃」 の約束のために 」

[講 師] (株)NHKエンタープライズ エグゼクティブプロデューサー 堅達 京子 氏

[参 加] 約 110 名(会員、藤井会長、副会長、常任理事、理事ほか)

(3) 経済講演会 (2024 年 12 月 3 日)

[演 題] 「2025 年北海道経済の展望 ～その先の、未来へ。～」

[講 師] (株)日本政策投資銀行 北海道支店長 江村 一幸 氏(当会常任理事)

[参 加] 講演会：約 120 名(会員、藤井会長、副会長、高田専務理事ほか)

交流会：約 80 名(会員、藤井会長、副会長、高田専務理事ほか)

(4) 食品企業学習会

◎第 1 回 (2024 年 6 月 5 日)

[講 習] 高齢労災防止について 厚生労働省北海道労働局 様

[参 加] 13 名

◎第 2 回 (2024 年 7 月 23 日)

[視察先] 北海道コカ・コーラボトリング 札幌工場

[講 演] SDGs の取り組み 北海道コカ・コーラボトリング(株) 様

[参 加] 23 名

◎第 3 回 (2024 年 8 月 30 日)

[視察先] 石屋製菓 北広島工場

[講 演] SDGs の取り組み 石屋製菓(株) 様

[参 加] 20 名

◎第 4 回 (2024 年 10 月 28 日)

[視察先] 雪印メグミルク 札幌工場、酪農と乳の歴史館

[講 演] SDGs の取り組み 雪印メグミルク(株) 様

[参 加] 21 名

(5) DX 研修会

◎前編（2024 年 6 月 6 日）

〔テーマ〕自分の PC で学ぶデータとクラウドの基本

〔講師〕産業能率大学 経営管理研究所 主任研究員 福岡 宣行 氏

〔参加〕25 名

◎後編（2024 年 10 月 2 日）

〔テーマ〕実機操作でデータスキルをビジネスに活かす

〔講師〕北海道ソフトウェア技術開発機構講師 富田 良治 氏

〔参加〕25 名

◎北海道税理士会フォーラム会場での特別セミナー（2024 年 10 月 16 日）

〔テーマ〕データサイエンスとその手法

〔講師〕北海道情報大学 特任教授 明神 知 氏

〔参加〕30 名

(6) 北海道 MaaS プラットフォーム

◎キックオフミーティング（2024 年 6 月 28 日）

〔内 容〕グランドデザイン検討の進め方、北海道 MaaS の具体的設計の議論

〔参加〕（公社）北海道観光機構、（一社）北海道商工会議所連合会、
（一社）北海道バス協会、網走バス(株)、日本航空(株)、全日本空輸(株)、
十勝バス(株)、函館バス(株)、北海道エアポート(株)、北海道観光局・交通政策局、
国土交通省北海道開発局・北海道運輸局、経済産業省北海道経済産業局、
NTT コミュニケーションズ(株)、(株)ジェイアール東日本企画、(株)北海道博報堂、
当会 36 名

◎旭川事例視察（2024 年 7 月 23 日）

〔内 容〕旭川空港でのタクシーGO 視察、かみくるパスについて、タクシーGO 導入の
経緯説明とかみくるパス使用感についての意見交換会

〔参加〕道北バス(株)、函館バス(株)、全日本空輸(株)、（公社）北海道観光機構、
北海道中央バス(株)、（一社）北海道バス協会、北海道交通政策局、網走バス(株)、
北海道エアポート(株)、当会 14 名

◎九州視察（2024 年 8 月 26～28 日）

〔内 容〕九州 MaaS ローンチについて意見交換会、フィジカル連携の視察

〔参加〕（公社）北海道観光機構、（一社）北海道バス協会、十勝バス(株)、日本航空(株)、
函館バス(株)、北海道エアポート(株)、北海道中央バス(株)、当会 12 名

◎総括セミナー（2025 年 2 月 12 日）

〔内 容〕グランドデザインの報告と具体的設計に向けた論点整理、

網走観光 MaaS 報告、日高氏による事業総括、東京大学中村教授による講演

〔参加〕対面 52 名、オンライン 67 名

(7) ワインツーリズム訴求のイベント協力 (2024 年 6 月 29～30 日、9 月 21～22 日)

[内 容] 東日本高速道路(株)が輪厚 PA で開催した「北海道ハイウェイ Show Area」への
道内ワイン産業およびワインツーリズムの PR ブース出展

(8) 女性リーダーチャレンジ研修

◎第 1 回 (2024 年 7 月 16 日)

[テーマ] 女性リーダーに求められるもの

[講 師] (公財) 21 世紀職業財団 客員講師 副島 眞由美 氏

[参 加] 32 名

◎第 2 回 (フォローアップ) (2024 年 12 月 12 日)

[テーマ] 女性リーダーに求められるもの

[講 師] (公財) 21 世紀職業財団 客員講師 副島 眞由美 氏

[参 加] 26 名

(9) シニア人材活用セミナー (2024 年 7 月 26 日)

[テーマ] 「Word&Excel」でタイパ向上 ～生成 AI ワンポイントレッスン付き～

[講 師] (株)フレックスジャパン IT ソリューション事業部 事業次長 三浦 徹 氏

[参 加] 15 名

(10) 第 5 期 次世代経営人財ゼミ特別編

◎第 1 回 (2024 年 7 月 31 日)

[テーマ] 「荒井建設とデザイン経営について」

[講 師] 荒井建設(株) 代表取締役 荒井 保明 氏 (当会副会長)

[参 加] 受講生 11 名、藤井会長

◎第 2 回 (2024 年 8 月 30 日)

[テーマ] 「人口 5,000 人のまちが進める、持続可能なまちづくり」

[講 師] 上士幌町役場 デジタル推進課 梶 達 氏

[参 加] 受講生 12 名

◎第 3 回 (2024 年 9 月 27 日)

[テーマ] 「受講生同士によるグループディスカッション 1 回目」

[進 行] 当会事務局

[参 加] 受講生 12 名

◎第 4 回 (2024 年 10 月 24 日)

[テーマ] 「受講生同士によるグループディスカッション 2 回目」

[進 行] 当会事務局

[参 加] 受講生 12 名

◎修了式 (2024 年 11 月 28 日)

[内 容] 受講生による成果発表

[参 加] 29 名 (受講生 12 名、受講生企業 10 名、講師 1 名、藤井会長、高田専務理事、
大橋理事・事務局長ほか)

(11) アンコンシャス・バイアス研修 (2024 年 9 月 2 日)

[テーマ] 「誰もが働き甲斐を持てる職場コミュニケーションのために ～ 管理職の新常識！」

[講師] Office Carlino (オフィスキャリーノ) 代表 朝生 容子 氏

[参加] 24 名

(12) 「自動運転バス」視察研修会

◎愛知県常滑市 常滑駅りんくうエリア「自動運転バス」視察研修会 (2024 年 9 月 4 日)

[内 容] 自動運転バス試乗、アイサンテクノロジー(株)・常滑市説明、質疑応答

[参 加] 4 名(網走バス(株)、当会)

◎石川県小松市 小松空港連絡線「自動運転バス」視察研修会 (2024 年 11 月 22 日)

[内 容] 自動運転バス試乗、BOLDLY(株)・小松市説明、質疑応答

[参 加] 5 名(網走バス(株)、当会)

(13) 労働法制セミナー (2024 年 9 月 27 日)

[主 催] 旭川経営者協会、当会

[講演] 「カスタマーハラスメントの現状とその対応」～安心して働くことができる職場環境の構築に向けて～

[講師] NPO 法人北海道勤労者安全衛生センター 特別講師 齊藤 勉 氏

[参加] 96 名

(14) 若手社員研修プログラム「若手共創塾 MIRAI-WA」

※昨年度開催「DoX PROJECT」の後継企画

[主 催] (株)北洋銀行、(株)北海道博報堂、当会

◎第 1 回 (2024 年 10 月 11 日)

[テーマ] 農業による地域共創と新事業

[講師] ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 課長 岩下 徳之 氏

(公財) 北海道科学技術総合振興センター

地域クラスター創造支援部 部長 對馬 貴子 氏

[参加] 26 名

◎第 2 回 (2024 年 11 月 15 日)

[テーマ] 食と観光による新たな価値創造

[講師] (一財) 日本気象協会 北海道支社 二本柳 友弥子 氏

石屋製菓(株) 経営管理部ゼネラルマネージャー 近藤 亜実 氏

[参加] 22 名

◎第 3 回 (2025 年 1 月 30 日)

[テーマ] 共創による SDGs への取り組み

[講師] (株)日立製作所 社会イノベーション事業統括本部 部長 成田 英将 氏

国分北海道(株) 人事総務部人事総務課 副課長 田口 静恵 氏

[参加] 20 名

(15) 北海道内自動運転の通年走行に向けた勉強会 (2024 年 10 月 25 日)

〔主 催〕 (公財) 北海道科学技術総合振興センター、当会

〔講演①〕 「苫小牧市における自動運転バス実証運行」

講師 苫小牧市総合政策部まちづくり推進課 村上 歩 氏

〔講演②〕 「積雪寒冷地における自動運転について」

講師 北海道大学名誉教授 萩原 亨 氏

〔講演③〕 「積雪寒冷地における自動運転に向けた道路空間モニタリングと今年度の実証概要」

講師 北海道大学大学院 工学科学研究院 教授 高橋 翔 氏

〔参 加〕 会場 29 名

(16) 北海道米のおやつコンテスト 2024 本審査会 (2024 年 10 月 30 日)

〔主 催〕 (株)北洋銀行、当会

〔テーマ〕 「知恵と技の掛け合わせ！北海道米を使ったおやつを創ろう！」

〔応募数〕 35 作品 (道内 7 校)

・大賞作品 北海道真狩高等学校

チーム名「いのうえの、」

作品名「雪ふるおこめのきなこムースタルト」

・大賞作品は、(株)北海道 150 年ファームおよび石屋製菓グループで商品化し、石屋製菓(株)の「Route148」にて期間限定販売 (2025 年 2 月)

・昨年度の大賞作品「かぼちゃでほっこりおこめのチェックケーキ」は、2024 年 9 月に商品化のうえ「Route148」で期間限定販売

(17) 2024 年度女性経営層ネットワーク懇談会 (2024 年 10 月 31 日)

〔テーマ〕 ①「新さっぽろ LABO の紹介とダイバーシティへの取り組みについて」

②「多様な人材の活躍やジェンダーギャップ等について」

〔講 師〕 SOC(株) 代表取締役社長 朝倉 由紀子 氏 (当会常任理事)

〔参 加〕 10 名

(18) 次世代モビリティビジネスセミナー ～次世代モビリティと自動車産業の今後～

(2024 年 11 月 19 日) ※オンライン・対面併用開催

〔主 催〕 北海道自動車産業集積促進協議会、当会

〔講演①〕 「積雪寒冷地における自動運転について」

講師 北海道大学名誉教授 萩原 亨 氏

〔講演②〕 「デンソーが考えるモノづくり視点からの社会課題と取り組み事例」

講師 (株)デンソー 生産革新センター 統括部長 松永 泰明 氏

〔参 加〕 会場 17 名、オンライン 38 名、藤井会長、高田専務理事

(19)「道内学生の製品化・事業化アイデア実現支援事業」学生アイデアプレゼンテーション

(第7回 2024年11月20日)

[主催] 札幌商工会議所、(公財)北海道科学技術総合振興センター、
(一社)北海道ニュービジネス協議会、当会

[発表] 室蘭工業大学、北海道科学大学、北海学園大学、旭川工業高等専門学校、
室蘭工業大学大学院、北海道大学大学院

[来場者] 51社76名

(20) WEBサイトを活用した観光需要喚起

[企画名] Black FRIDAY 企画 (2024年11月22～26日)

[内容] 道内経済4団体連携 会員企業・団体応援企画「The Five Senses of North～北の五感～」サイトを活用し、期間限定で、割引やポイント付与、オプション等を追加した北海道を楽しむためのお得なプランを掲載・販売

(21)「ゼロカーボン北海道」に関する経済団体・産業団体の勉強会

◎第1回 (2025年1月17日開催)

[講話] ①ブルーカーボンに関する基礎知識と道内活動事例について

(株)エコニクス 海域担当チーム マネージャー 伊藤 尚久 氏)

②生物多様性への取り組み

(株)エコニクス 陸域担当チーム マネージャー 渡邊 香織 氏)

③株式会社鈴木商会が取り組むゼロカーボンについて

(株)鈴木商会 取締役 阿部 淳 氏)

[参加] 17名

◎第2回 (2025年3月14日)

[講話] ①公清企業が取り組む資源循環型リサイクルの提案～地域・社会・環境への貢献～

(株)公清企業 大嶋 武 氏)

②環境省の支援施策について

(環境省北海道地方環境事務所 川村 華 氏)

③経済産業省の脱炭素に関する施策について

(経済産業省北海道経済産業局 綿貫 響 氏)

[参加] 20名

(22) 観光デジタルトランスフォーメーションカンファレンス 2024 (2025年3月19日)

※オンライン開催

[内容] 会員企業等5者からのデジタル技術を活用したソリューションおよび導入事例のプレゼンテーションを通じた会員企業等との情報共有

[参加] 延べ約250名

(23) 講座講習会

[内容] 階層別研修、労働法務、給与計算実務など21講座実施

9-2. 他団体の講演会・セミナー等への参加

(1) 第9期北海道総合開発計画キックオフミーティング（2024年4月24日）

〔主 催〕 国土交通省北海道局・北海道開発局

〔講演・パネリスト〕 真弓名誉会長（国土審議会北海道開発分科会計画部会 部会長）

〔テーマ〕 「第9期北海道総合開発計画に寄せる期待～持続的発展は地域の連携と共創から～」

(2) さつまいも北海道プロジェクトへの参画

〔事務局〕（公財）北海道科学技術総合振興センター

〔内 容〕 6月28日 第2回サツマイモ交流会参加

8月26日 （一社）九州経済連合会との情報交換（福岡市）

8月27日 宮崎県さつまいも加工場視察

1月24日 第3回さつまいも交流会参加

2月13日 苫小牧埠頭(株) サツマイモ選果場視察

(3) 北海道の食関連人材育成プラットフォームの設立

◎第1回（2024年10月11日）

〔授 業〕 商品開発の歩み、DX への取組内容について

〔対 象〕 北海道帯広農業高等学校

〔講 師〕 アイビック食品(株) 常務取締役 渡辺 真人 氏

◎第2回（2024年10月18日）

〔授 業〕 デジタルを活用した農業経営、スマート農業の取組

〔対 象〕 北海道帯広農業高等学校

〔講 師〕 NTTコミュニケーションズ(株) 北海道支社 ソリューション営業部門 阿部 拓真 氏

◎第3回（2024年10月24日）

〔授 業〕 レトルト食品の商品開発について

〔対 象〕 北海道美幌高等学校

〔講 師〕 ベル食品(株) 専務取締役 藤田 晃幸 氏

◎第4回（2024年11月1日、2024年11月15日）

〔授 業〕 乳製品の品質管理および商品開発について

〔対 象〕 北海道帯広農業高等学校

〔講 師〕 雪印メグミルク(株) 札幌研究所 技術主事 佐々木 正弘 氏、
商品開発部 荒井 達也 氏
北海道品質保証センター長 長谷川 郷 氏

◎第5回（2024年12月17日）

〔授 業〕 スマート農業の現状およびドローンの活用事例について

〔対 象〕 北海道剣淵高等学校

〔講 師〕 NTTコミュニケーションズ(株) 北海道支社 ソリューション営業部門 阿部 拓真 氏

◎第6回（2025年2月26日）

〔授 業〕 マーケティング業務部の役割

〔対 象〕 北海道真狩高等学校

〔講 師〕 日糧製パン(株) マーケティング業務部 部長 森安 朋子 氏

◎第7回（2025年2月27日）

〔授 業〕 農産物輸出の現状について

〔対 象〕 北海道留寿都高等学校

〔講 師〕 国分北海道(株) 地域共創部 長谷川 広貴 氏

(4) 第38回北海道ビジネス EXPO へのブース出展・セミナー開催（2024年11月7～8日）

◎資源リサイクルフォーラム（事務局：エコロジア北海道21推進協議会）

〔内 容〕 参加団体・企業の展示

〔参 加〕 当会1名（団体・企業8者）

◎資源リサイクルセミナー（事務局：北海道循環資源利用促進協議会）

〔内 容〕 脱炭素・サーキュラーエコノミーに関する講演

〔講 師〕 （一社）Alliance for the Blue 野村 浩一 氏、旭化成(株) 下野 雅樹 氏

〔参 加〕 当会3名（大橋理事・事務局長ほか）

◎ゼロカーボン北海道ブース

〔内 容〕 当会会員企業の取組紹介・プレゼンテーション、パンフレット配布等

〔参 加〕 当会、北海道、札幌市、（一社）北海道中小企業家同友会

(5) 北海道「命のみち」づくりを求める東京大会（2024年11月19日）

〔主 催〕 北海道高速道路建設促進期成会等

〔参 加〕 藤井会長（Web）

(6) 第22回シーニックバイウエイ北海道推進協議会（2024年12月9日）

〔事務局〕 国土交通省北海道開発局

〔参 加〕 藤井会長

9-3. その他の活動（広報関係等）

(1) 広報活動

◎道経連会報（6回発行）

・No.291（5・6月号、2024年5月発行）

「Team Sapporo-Hokkaido 活動紹介」「DoX PROJECT 2023」「九経連との意見交換」

「わがまち紹介 共和町」ほか

・No.292（7・8月号、2024年7月発行）

「Team Sapporo-Hokkaido 活動紹介」「第50回定時総会・第99回理事会・記念講演会」

「わがまち紹介 寿都町」ほか

- ・ No.293 (9・10月号、2024年9月発行)

「2025年度国の施策及び予算に関する要望活動」「わがまち紹介 赤平市」ほか

- ・ No.294 (11・12月号、2024年11月発行)

「第70回北海道経済懇談会」「2024年度『次世代人財ゼミ特別編』開講」

「わがまち紹介 今金町」ほか

- ・ No.295 (1・2月号、2025年1月発行)

「2025年度北海道の施策及び予算に関する要望活動」「第27回三経連経済懇談会」

「2024年度活動報告会」「わがまち紹介 森町」ほか

- ・ No.296 (3・4月号、2025年3月発行)

「2024年度経済講演会」「2024年度次世代経営人財ゼミ特別編」「わがまち紹介 音更町」
ほか

(2) 定期調査

- ①2024年賃上げ要求・妥結状況調査(2024年7月)
- ②2024年夏季賞与要求・妥結状況調査(2024年8月)
- ③2024年燃料手当支給実績調査(2024年12月)
- ④2024年冬季賞与要求・妥結状況調査(2025年1月)
- ⑤2024年経営・雇用状況調査(2025年3月)

(3) 労務相談

- ・ 法律専門家による無料労務相談を月2回設定(相談実績2回)。

9-4. その他の活動(GX、次世代半導体集積、(一社)北海道新産業創造機構関連)

(1) 北海道経済連合会 GX セミナー (2024年4月26日)

[講演①] 国内外のGXの潮流と国の取組および企業の動向

講師 経済産業省北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 部長 豊島 厚二 氏

[講演②] Team Sapporo-Hokkaido の取組の意義特区とは何か

講師 (株)北洋銀行 経営企画部成長戦略企画室 管理役 赤星 宏光 氏

[講演③] 道内のGX取組事例

講師 (株)北海道二十一世紀総合研究所 調査研究部 主任研究員 小川 貴大 氏

[会 場] 北洋銀行セミナーホール

[参 加] 200名(藤井会長ほか)

(2) 洋上風力発電サプライチェーン構築・人材確保支援事業委託業務(北海道)

- ◎コンソーシアム：当会、(株)北海道二十一世紀総合研究所、(株)道銀地域総合研究所、
(公財)北海道科学技術総合振興センター、
(株)JTB ビジネストラנסフォーム、(一社)北海道新産業創造機構

◎洋上風力発電事業者と道内企業のマッチング

- ・第1回（2024年9月4日）
 - 〔会 場〕札幌コンベンションセンター
 - 〔参 加〕発注企業12社、提案企業22社
- ・第2回（2024年12月20日）
 - 〔会 場〕かでの2・7
 - 〔参 加〕発注企業8社、提案企業25社

◎企業展示会等のイベント出展

- ・GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT（2024年9月3～4日）
 - 〔会 場〕札幌コンベンションセンター
 - 〔協 力〕日測技研(株)、FRS コーポレーション(株)、北興化工機(株)、(株)北海電工
- ・スマートエネルギーWEEK 「WIND EXPO【春】」（2025年2月19～21日）
 - 〔会 場〕東京ビッグサイト
 - 〔協 力〕(株)エコニクス、(株)沿海調査エンジニアリング、(株)カナモト、
苫小牧栗林運輸(株)、(株)バーナードソフト、函館どつく(株)、(株)北海電工、
(一社)北海道機械工業会

◎道内事業者向けのセミナー・勉強会開催

- ・道北エリア（2024年11月22日）
 - 〔会 場〕旭川市民文化会館
 - 〔テーマ〕洋上風力の概要、新規事業としての風力業界への参入例
 - 〔講 演〕Siemens Gamesa Renewable Energy、(株)北拓
- ・道東エリア（2024年11月28日）
 - 〔会 場〕釧路市生涯学習センターまなぼっと
 - 〔テーマ〕洋上風力の概要、浮体式基礎の概要説明
 - 〔講 演〕Siemens Gamesa Renewable Energy、東芝エネルギーシステムズ(株)、
北海道電力(株)、東京海上日動火災保険(株)
- ・道南エリア（2024年11月18日）
 - 〔会 場〕函館経済センター
 - 〔テーマ〕洋上風力の概要、人材育成や人員輸送業務の概要
 - 〔講 演〕MHI ベスタスジャパン(株)、日本郵船(株)
- ・道央エリア（2024年12月20日）
 - 〔会 場〕かでの2・7
 - 〔テーマ〕洋上風力の概要
 - 〔講 演〕GE ベルノバ・インターナショナル・エルエルシー、
Siemens Gamesa Renewable Energy、東芝エネルギーシステムズ(株)、
MHI ベスタスジャパン(株)、東京海上日動火災保険(株)

◎出前授業の実施

- ・第1回：北海道北見工業高等学校（2024年11月19日）
[対 象] 1・2学年電気科、2学年機械電子科 生徒65名、教員5名
[講 師] (株)北拓、(株)北海電工
- ・第2回：北海道札幌工業高等学校（2024年12月5日）
[対 象] 2学年電気科 生徒56名、教員5名
[講 師] (株)北拓、(株)北海電工
- ・第3回：北海道札幌工業高等学校（2024年12月5日）
[対 象] 定時制 在校生74名、教員38名
[講 師] (株)北拓、(株)北海電工

◎バスツアー見学会の実施

- ・第1回：北海道室蘭工業高等学校（2024年9月4日）
[対 象] 1学年電気科 生徒35名
[見学先] GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT-JAPAN
石狩湾新港エリア洋上風力発電
- ・第2回：北海道滝川工業高等学校（2024年10月30日）
[対 象] 1学年・2学年電気科 生徒27名
[見学先] 石狩湾新港エリア洋上風力発電
- ・第3回：北海道札幌工業高等学校（2025年2月25日）
[対 象] 1学年電気科約74名
[見学先] 石狩湾新港エリア洋上風力発電

◎先行地域ヒアリング

- ・秋田県洋上風力発電設備視察（2024年12月2～3日）
[訪問先] 秋田県庁、(株)秋田銀行、大森建設(株)、秋田洋上風力発電(株)

(3) カーボンニュートラルファーストステップ支援事業委託業務（北海道）

- ◎コンソーシアム：当会、北海道電力(株)、(株)北海道二十一世紀総合研究所、
(株)道銀地域総合研究所、
- ◎実施概要：先導モデルとなる道内主要事業者（15社）のCN化プラン策定
- ◎協力企業：吉川食品(株)、江別製粉(株)、佐藤水産(株)、ベル食品(株)、(株)苫小牧清掃社、
(株)加藤水産、湯宿だいいち、(株)ヤマイチ水産、(株)食創、(株)ワイエスフーズ、
和弘食品(株)、(株)中央ネームプレート製作所、ふる川、(株)チクレンミート、
だるま食品(株)

(4) 脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業委託業務（北海道）

- ◎コンソーシアム：当会、(株)北海道博報堂、北海道電力(株)

◎セミナーの企画・実施および資料作成業務

- ・カーボンクレジット活用セミナー（2024年11月8日）
[会 場] アクセスサッポロ
[テーマ]「動き出す 北海道の カーボンクレジットを捉える」
- ・既存建物の省エネ化セミナー（2024年11月11日）
[会 場] 北洋銀行セミナーホール
- ・製造業向けセミナー（2024年11月11日）
[会 場] 北洋銀行セミナーホール
- ・宿泊・飲食サービス業向けセミナー（2024年11月15日）
[会 場] 北洋銀行セミナーホール

◎事業者向け研修の企画・資料作成業務

- ・研修用動画作成（12分用MP4版）
- ・研修資料および講師用マニュアル作成
- ・事業者の取組紹介記事作成
[紹介企業] 蘭越町交流促進センター、伊藤組土建(株)、(株)オーテック、(株)ゆたか、
イオン北海道(株)、ムロオ北海道(株)
- ・「ゼロカーボン北海道」実現に向けた取組事例集作成
- ・北海道地球温暖化防止対策条例に基づく報告制度等リーフレット作成
[内 容] 事業者温室効果ガス削減等計画書・実績報告書
特定事業者以外の事業者排出量簡易報告書の概要
建築物環境配慮計画書・工事完了届出書の概要
再生可能エネルギー計画書・達成状況等報告書の概要

(5) 半導体産学官ネットワーク構築・強化事業委託業務（北海道）

- ◎コンソーシアム：（一社）北海道新産業創造機構、東日本電信電話(株)、
(株)北海道二十一世紀総合研究所、(株)道銀地域総合研究所、
(株)北海道博報堂、（公財）北海道科学技術総合振興センター

◎道内企業等による半導体関連産業への参入促進プロジェクト等

- ・「道内企業による半導体関連産業への参入促進・取引拡大」
（公財）北海道中小企業総合支援センター
- ・「オンラインコミュニティを活用した地域の付加価値向上等の検討」
HOP（東日本電信電話(株)）
- ・「AI・半導体を軸とした道東ネットワーク構築」
北見工業大学
- ・「デジタル人材の育成を通じた地域課題の解決」
函館工業高等専門学校
- ・「AI・半導体人材の育成を通じた地域産業の活性化」
旭川工業高等専門学校

(6) 半導体人材育成推進協議会への参画（事務局：北海道経済産業局、構成機関：59 団体）

◎本会議

- ・第1回北海道半導体人材育成等推進協議会（2024年7月18日）

〔出席〕小林常務理事、船矢常務理事

- ・第2回北海道半導体人材育成等推進協議会（2025年3月7日）

〔出席〕藤井会長、小林常務理事

◎人材育成・確保WG

- ・第1回人材育成・確保WG（2024年12月11日）

〔出席〕小林常務理事、船矢常務理事ほか

◎取引活性化WG

- ・第1回取引活性化WG（2024年12月11日）

〔出席〕小林常務理事、船矢常務理事ほか

◎半導体・電子デバイス企業 × 道内企業ビジネスマッチング（2025年2月3日）

〔参加〕発注企業5社、提案企業23社

(7) Rapidus(株)の課題対応に関する活動

◎Rapidus(株)連絡会議（6回開催）

(8) 北海道との連携によるプロモーション推進支援活動

◎米国半導体関連施設視察（2024年8月19～23日）

〔視察先〕IBM ワトソン研究所、NY CREATES、レンセラー工科大学

〔参加〕藤井会長、鈴木知事、北海道経済産業局、（一社）北海道新産業創造機構、（一社）北海道商工会議所連合会、（独）日本業駅振興機構、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、北海道大学

◎セミコン台湾（2024年9月3～6日）

〔内容〕北海道投資誘致セミナー（（一社）北海道新産業創造機構による立地支援、課題解決対応等の活動）

〔参加〕船矢常務理事ほか

◎名古屋ネプコンジャパン 北海道出展ブース支援（2024年10月23～25日）

〔参加〕北海道次世代半導体戦略室、千歳市、苫小牧市、当会2名ほか

◎セミコンジャパン2024 ブース出展（2024年12月11～13日）

〔参加〕当会、（一社）北海道新産業創造機構（5名）ほか

(9) 各自治体、団体、企業等との情報連携活動

〔自治体〕北海道、千歳市、苫小牧市、恵庭市、北広島市、室蘭市、函館市、旭川市

〔大使館等〕アメリカ大使館、デンマーク大使館、ベルギー大使館、イギリス大使館、台北駐日経済文化代表処

以 上